

Joie™

適合基準：ECE R129/03

適応身長：76cm-150cm

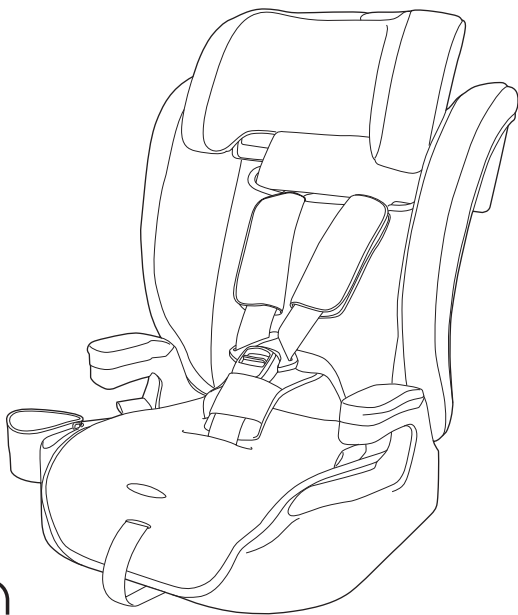
年齢の目安：15ヵ月頃から12歳頃まで

ジョイー・チャイルドシート

elevate™ R129 Lite

エレベート R129 ライト

取扱説明書／保証書



ECE R129/03 : i-Size

2511_01

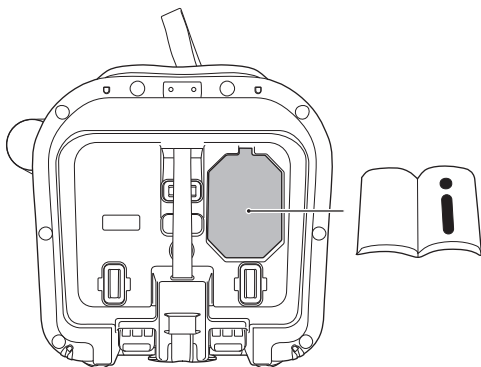


Welcome to Joie™

この度は、ジョイー 製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、自動車の座席で使用するチャイルドシートです。

本製品は、ECE R129/03 基準に適合するチャイルドシート製品ですが、
使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さ
まのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよ
ぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読
し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説
明書は、本製品底面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なと
きにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



取扱説明書ホルダー

はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	4
正しい使用	4
チャイルドシートについて	5
使用に関するアドバイス	5
適合する自動車の座席について	6
本製品の情報	6
緊急時の対応	7
表記の説明	8
内容物の確認	9
各部の名称	10
使用できるお子さまの条件	12
自動車座席に関して	14
使用可能な座席の位置と向き	14
シートベルトの使用	15
使用できない座席	15
使用上の注意事項	17
組み立て	27
カップホルダー	32
基本的な使いかた	34
バックルの使いかた	34
ハーネスの調節	36
ヘッドサポートの調節	37
ハーネスモードで使用する	39
自動車の座席への取り付け	40
お子さまの乗せかた	49
ブースターモードで使用する	54
ブースターモードへの切り替え	54
お子さまの乗せかたと調節	66
お手入れのしかた	76
肩ベルトパッド・股ベルトパッドの取り外し	77
バックレストのカバーの取り外し	77
ヘッドサポートのカバー・ベースのカバーの取り外し	79
カバー・パッド類のお手入れ	92
その他の部位のお手入れ	94
除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意	95
保管のしかた	95
廃棄のしかた	95
保証書	96

はじめにお読みください

本製品は、ECE R129/03 基準に適合する、チャイルドシートです。
身長 76cm ～ 150cm（目安年齢 3.5 歳頃から 12 歳頃）のお子さまに使用することができます。

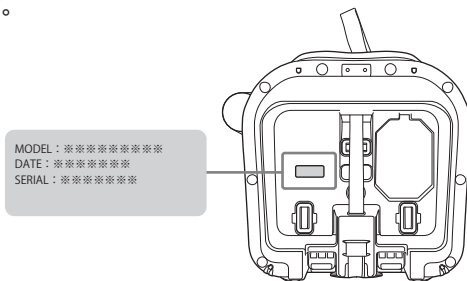
ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシートの基準である、ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報、当社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

ユーザー登録に必要な情報は、本製品のベース底面のステッカーに記載されています。



正しい使用

本製品が、所定の安全性能を発揮するように、本書および本体の表記の指示に従って、正しく使用してください。

チャイルドシートについて

本製品は、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、本製品を正しく使用しないと、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や、緊急事態には、お子さまを直ちに応急処置し、医療機関にご相談ください。

適合する自動車の座席について

本製品は、ほとんどの自動車の座席で使うことができますが、すべての自動車、座席において使うことは限りません。

本書および自動車の取扱説明書を参照の上、確認してください。

以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の当社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

カトージ ホームページ
katoji.co.jp

本製品の情報

本製品は、最新の ECE 基準の UN 規則 R129/03 によって認証された、身長 76cm から 150cm までのお子さまが使える i-Size チャイルドシートです。

お子さまの成長（身長）に応じて、以下の 2 種類のモードを切り替えてご使用いただけます。

●ハーネスモード

●ブースターモード

各モードは、それぞれ使用できるお子さまの身長範囲が異なります。

ご使用の際は、「使用できるお子さまの条件」(P.12) を必ずご参照のうえ、適合するモードで正しくお使いください。

ハーネスモード：3点式シートベルトで座席に固定して使用します

- 1：本製品は「ユニバーサル・シートベルト式強化型チャイルド拘束装置」です。UN 規則 R129 に準拠して承認されており、主に車両メーカーが車両の取扱説明書で指定する「ユニバーサル座席位置」での使用が認められています。

お子さまには、本製品のハーネスを装着して使用します。

- 2：本製品に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

ブースターモード：3点式シートベルトで座席に固定して使用します

1：本製品は「強化型 i-Size ブースターシート」です。UN 規則 R129 に準拠して承認されており、主に車両メーカーが車両の取扱説明書で指定する「i-Size 座席位置」での使用が認められています。

ただし、仕様等によっては本製品の機能などに制限が加えられる場合がありますので適合車種一覧をご確認ください。

お子さまには、座席の3点式シートベルトを装着して使用します。

2：本製品に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

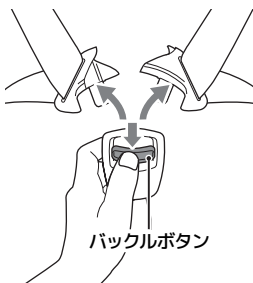
.....

原材料 : プラスチック／金属／縫製品

パテント No. : 特許出願中

緊急時の対応

交通事故などの緊急時には、ハーネスモードの場合は慌てず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外し、ブースターモードの場合はシートベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。その上で直ちにお子さまの応急処置を行い医師の診断を受けるようにしてください。



ハーネスモードで本製品のバックルボタンが機能しない場合は、シートベルトのシートバックルを外してロックオフデバイス、腰ベルトパスからシートベルトを抜き、本製品ごとお子さまを車外に脱出させてください。

シートバックルも機能しない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネス、シートベルトを切断してお子さまを車外に脱出させてください。

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

禁止と警告

表記	表記の内容
	警告や注意を促す事柄を示します。
	禁止事項を示します。

強調・禁止の表記について

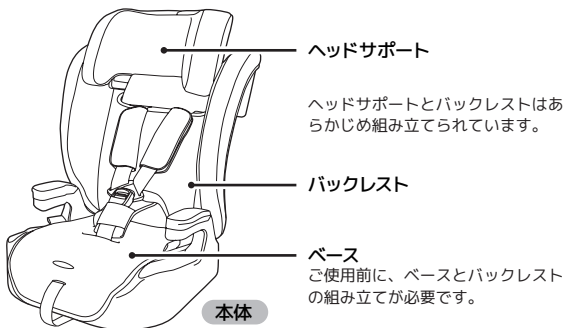
表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

ポイントの表記について

 ポイント!	この表記に付随して記載されている事柄は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいて頂きたい重要な情報や、本製品をより便利にご使用いただくための情報です。
---	---

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



カップホルダー



本書



ユーザー登録ハガキ

⚠ 警告

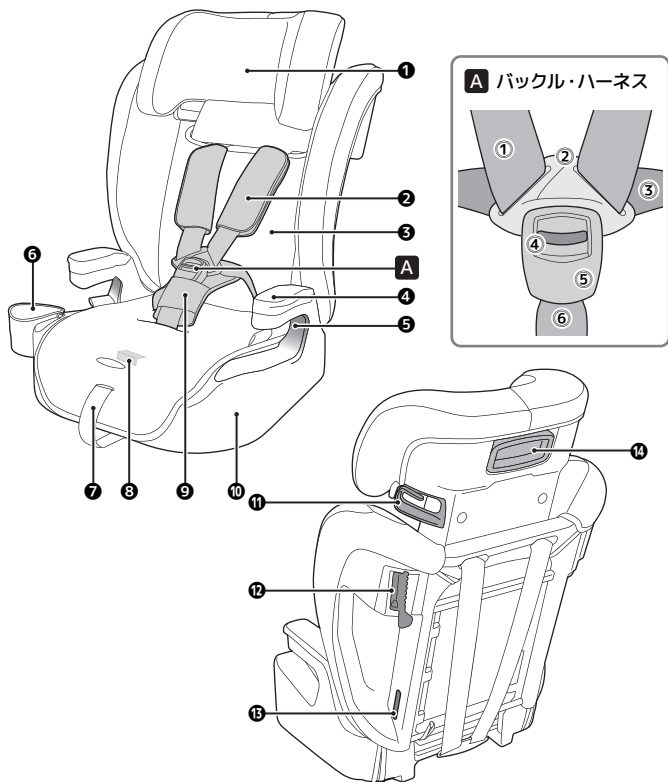
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

本製品の各部の名称

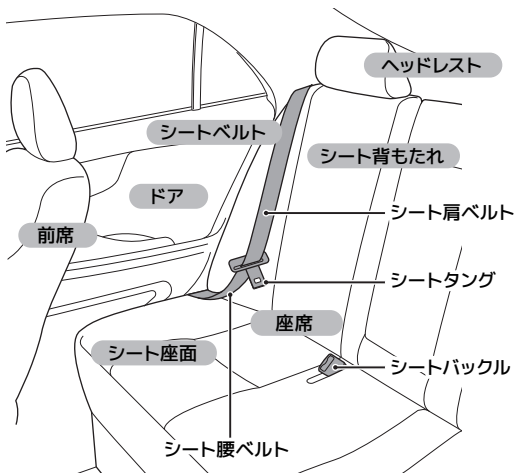
本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



① ヘッドサポート ② 肩ベルトパッド ③ バックレスト ④ アームレスト ⑤ 腰ベルトパス B ブースターモードで使します ⑥ カップホルダー ⑦ アジャスターベルト ⑧ ベルトアジャスター ⑨ 股ベルトパッド	⑩ ベース ⑪ 肩ベルトガイド ブースターモードで使します ⑫ ロックオフデバイス ハーネスモードで使します ⑬ 腰ベルトパス A ハーネスモードで使します ⑭ ヘッドサポート アジャストレバー	A バックル・ハーネス ① 肩ベルト ② 差込みタング ③ 腰ベルト ④ バックルボタン ⑤ 受けバックル ⑥ 股ベルト
--	--	---

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



👉 ポイント!

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は2種類のモードで使用することができますが、使用するモードにより使用できるお子さまの条件が異なります。いずれのモードでも自動車の3点式シートベルトを使用しますが、使用するモードによって使用方法、調節方法が異なります。それぞれ適切な状態にしてご使用ください。

危険

条件に当てはまらない場合は使用しないこと

本製品の適合する ECE R129/03 基準は、使用可能な期間をお子さまの身長によって規定しています。身長が使用できる条件に満たない、またはこれを超える場合には、本製品を使用してはいけません。

また、本製品ではお子さまの体重および年齢に関する条件も設けております。実際のご使用にあたってはこれらの条件すべてを満たすようにしてください。

生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないこと

お子さまを適切に保護できないおそれがあります。お子さまの身長が本製品の使用に適していたとしても（身長 76cm 以上）、生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。

ハーネスモード

- ・ お子さまの身長 76cm ～ 105cm / 体重 9kg ～ 21.5kg まで
- ・ 生後 15 ヶ月～目安として 4 歳頃まで
- ・ 本製品のハーネス / 3 点式シートベルトを使用

ブースターモード

- ・ お子さまの身長 100cm ～ 150cm / 体重 15kg ～ 36kg まで
- ・ 3.5 歳頃～ 12 歳頃まで
- ・ 3 点式シートベルトを使用

お子さまの条件	モード	使いかた
76cm～105cm 体重9kg～21.5kg以下 15カ月～4歳頃まで ⚠危険 お子さまが生後 15 カ月を超えるまでは本製品を使用 してはいけません。	ハーネスモード 	・ 進行方向に対して前向きの座席に、本製品を前向きにして使用。 ・ お子さまは、本製品のハーネスを装着
100cm～150cm 体重36kg以下 3.5歳～12歳頃まで	ブースターモード 	・ 進行方向に対して前向きの座席に、本製品を前向きにして使用。 ・ お子さまは、3 点式シートベルトを装着 ハーネス、バックルを取り外して使用します

- ・ いずれのモードも記載されているすべての条件を満たしたお子さまにご使用いただけます。
- ・ 本製品は ISOFIX 固定装置を使用しません。いずれのモードでも 3 点式シートベルトを使用します。
- ・ お子さまが他の条件を満たしていても、生後 15 カ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。

⚠危険

ベースのみ、バックレスト（ヘッドサポート）のみで使用しないこと

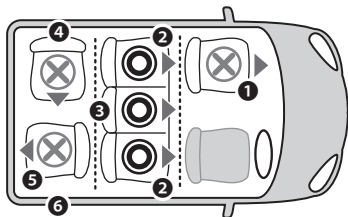
本製品は、ベースにヘッドサポートとバックレストを組み立てた状態でのみ使用することができます。ベースのみ、ヘッドサポートのみ、バックレストのみの状態で使用してはいけません。

ベース単体のみの状態にして、背もたれなしのブースターシートとしては絶対に使用しないでください。



自動車の座席に関して

使用可能な座席の位置と向き



- ① 助手席 × 使用不可※¹
- ② 2 列目左右ドア側席 ○ 使用可能
- ③ 2 列目中央席 ○ 使用可能※²
- ④ 進行方向に向かって横向きの座席 × 使用不可
- ⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席 × 使用不可
- ⑥ 3 列目以降の左右中央座席 ○ 使用可能※³

※¹ 使用できません。より安全な後部座席での使用をお勧めします。

※² 当社車種適合一覧において、中央座席に関しては適合調査をいたしておりませんが、3 点式シートベルトが装備されていれば使用できる可能性があります。

※³ 当社車種適合一覧においては適合調査をいたしておりませんが、3 点式シートベルトが装備されていれば使用できる可能性があります。

⚠ 危険

使用の可否の条件を守ること

前図のシート（座席）すべてで使用可能とは限りません。前図は座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ使用可能です。

使用できる向きを守ること

本製品は、自動車の進行方向に向かって前向きの座席に、本製品を前向きにして設置して使用します。本製品を前向き以外の座席に設置したり、本製品を横向きや後ろ向きにするなどして使用してはいけません。

本製品は、ハーネスモードで使用する場合は自動車の取扱説明書において「ユニバーサル・シートポジション」と指定された座席、ブースターモードで使用する場合は自動車の取扱説明書において「i-Size・シートポジション」と指定されている座席でそれぞれ原則として使用可能ですが、諸条件により使用を推奨しない場合があります。本製品が使用できる車種、座席の情報に関しては、車種適合一覧で確認していただけます。

シートベルトの使用

本製品では、使用するモードに関わらず自動車の3点式シートベルトを使用します。2点式シートベルトや5点式シートベルトの座席、シートベルトが装備されていない座席では使用することができません。また、年式の古い車両においては、3点式シートベルトでも、シートベルトの仕様により本製品を使用できない可能性があります。本製品は、ALR（ELRに切り替え不可のタイプ）方式およびNR方式のシートベルトには対応しておりません。

使用できない座席

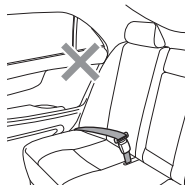
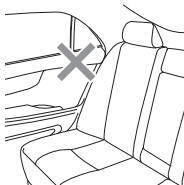
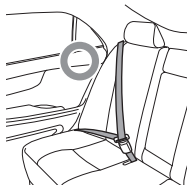
本製品は、すべての自動車、すべてのシート（座席）で利用できるものではありません。本製品を取り付け、使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

3点式シートベルト以外の座席

本製品は、3点式シートベルトが装備された座席でのみ使用可能です。シートベルト未装備の座席はもちろん、2点式、4点式、5点式シートベルトが装備された座席では絶対に使用しないでください。



⚠危険

以下に示すシート(座席)では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

助手席

当社では助手席での使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にダッシュボードにぶつかったりするほか、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席で使用してください。

適合車種一覧で使用不可となっている車種または座席

本製品の適合車種一覧で、使用不可となっている車種または特定の座席(車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません)では使用できません。

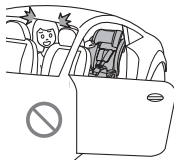
安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を使用するとドアやコンソールなどの構造物に接触する座席、座席の可動操作に本製品が干渉する座席では、本製品が安定しないため使用しないでください。適合車種であっても、限定モデルや中古車などの場合、特殊な座席が装備されていたり、座席そのものが交換されていることがあります。このような場合、適合車種一覧での取り付け可否に関わらず、本製品を安定して設置できない可能性がありますのでご注意ください。



乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側や2ドアの自動車など、本製品を使用することで他の乗員が緊急時に脱出しにくくなる座席では使用しないでください。実際に本製品を使用する前に、緊急時を想定して、本製品を置いた状態で他の乗員が容易に乗降できるか、またお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用することができません。

本製品の取り付け、固定操作中に移動する座席

本製品の取り付け、固定操作中に移動したり、背もたれや座面の状態が変化する座席には取り付けしないでください。

本製品の角度が異常になる座席

座面が極端に傾斜しているなど、使用時に本製品の角度が異常になる座席では使用しないでください。

可動式の座席やドアが本製品に干渉する座席

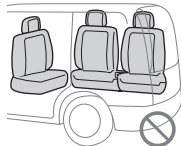
ドアの開閉時や座席を移動させた際、ドアや座席が本製品(樹脂部品など)に干渉する座席で使用すると、本製品の破損や、自動車の操作への影響、本製品の正しい使用状態の維持に影響をおよぼすおそれがあります。

⚠危険

以下に示すシート(座席)では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

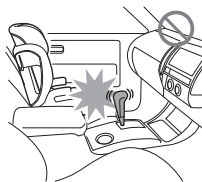
進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席でのみ使用してください。後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に対して前向きの座席であっても、補助席などの特殊な座席や、バス、電車、飛行機、船など、自動車以外の乗り物の座席では使用しないでください。



本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

運転の安全を確保するため、本製品の使用により、ドアミラーが見えにくくなったり、サイドブレーキ、シフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。本製品は後部座席でご使用ください。



使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本取扱説明書および本体の表記に従って正しく使用すること

本書の指示にない使いかたはしないでください。本書および製品本体に記載する方法以外での自動車の座席への固定、使用はしないでください。正しく固定、使用しないと事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品の固定、設置、使用場所に注意すること

固定、設置、使用する場所によっては、可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめ安全を確認した上で固定、設置、使用してください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

使用条件を厳守すること

本製品は、適合基準に基づき、お子さまの使用条件が定められています。この条件を守り、本書の指示に従って正しく使用しなければ、事故の際に所定の安全性能が発揮できず、重大な危険につながるおそれがあります。



本製品は本書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること

本製品を誤った状態で使用すると、お子さまだけでなく、同乗者にも危険がおよぶおそれがあります。使用方法を理解していても、お子さまには絶対に操作をさせないでください。また、ご家族や知人など第三者が本製品を使用する場合にも、必ず本書を参照させ、正しく安全に使用できる状態にしておいてください。

お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。誤った方法でシートベルトを使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



指定外のアクセサリを追加して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ジュニアシート用、ブースターシート用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッション、ベルトなどを本製品に追加して使用しないでください。

本製品にいかなる改造も追加も行わないでください

型式認証機関の承認なしに、本製品に改造、追加を行わないでください。また、本製品に取り付けられている白色のEPP/EPSフォーム（発泡スチロール等の衝撃吸収材）を絶対に取り外さないでください。これらに従わない場合、重大な安全上の問題が発生する恐れがあります。

指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

本製品はすべてのモードで3点式シートベルトを使用します。本製品やお子さまの固定のために、ひも、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。2点式、4点式、5点式のシートベルトも使用することができません。また、正しく固定した上にこれらのもので補強してもいけません。これらのものが本製品の状態に影響をおよぼしたり、お子さまの首や身体に引っかかる可能性があります。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

シートベルト（シートバックル・シートタング）に損傷がある場合は使用しないこと

交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりシートバックルが外れたりして、重大な事故につながるおそれがあります。



指定以外の向きで自動車の座席に取り付け、使用をしないこと
本製品は進行方向に対して前向きの座席に、前向きにして使用します。横向き、後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きにしてシートに取り付けてはいけません。

体型が合わない場合は使用しないこと

本製品の認証基準では、お子さまの身長によって使用の可否が定められています。「使用できるお子さまの条件」に記載された目安の年齢（月齢）の範囲内でも、身長の規定に満たない、または超えた場合は本製品の使用を中止してください。また規定内でも、お子さまの成長に伴う体格の変化によって、適切に本製品を使用できなくなった場合も、本製品の使用を中止してください。



⊘ お子さまを自動車内に放置しないこと
本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、たとえ数分でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

正しくハーネスやシートベルトを装着すること

ハーネスやシートベルトをねじらないこと

お子さまが装着するハーネスやシートベルト、本製品を座席に固定するシートベルトにねじれがあると、本製品が安全に機能しません。本製品を正しく調節して、ハーネスやシートベルトにねじれないことを確認してしっかりと締め付け、いずれの場合もしっかりとバックルを留めて正しく使用してください。

本製品の使用や取り付けに関わるベルト（ハーネス、シートベルト）類は、ゆるみのないようにすること

ハーネス、シートベルトにゆるみがないようにして本製品をご使用ください。

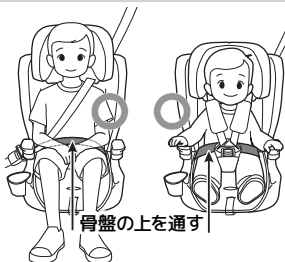


⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

ハーネス、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと

事故や衝撃を受けた際にお子さまにかかる衝撃を骨盤でしっかりと受け止めるため、ハーネス、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通して適切に締め付けるようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷や骨折の危険性が高まります。



ベースのみ、バックレスト（ヘッドサポート）のみで使用しないこと

本製品は、ベースにヘッドサポートとバックレストを組み立てた状態でのみ使用することができます。ベースのみ、ヘッドサポートのみ、バックレストのみの状態で使用してはいけません。

ベース単体のみの状態にして、背もたれなしのブースターシートとしては絶対に使用しないでください。



お子さまを自動車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、たとえ数分でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



カバー類、パッド類を取り外して使用しないこと

カバー類、パッド類（ハーネスモード時）を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、パッド類、クッション材も安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

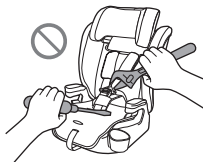
⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

部品を取り外した状態で使用しないこと

本製品に破損や異常がある場合は使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。



分解、修理の禁止

本取扱説明書で指示された部位や部品を除き、本製品から部品を取り外したり、分解したりしないでください。安全機能が損なわれるため、お客様ご自身での分解や修理は大変危険ですので、絶対に行わないでください。



お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げないこと

お子さまが落下したり本製品が破損、落下したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。例えばハーネスを正しく装着していたとしても、お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

短距離、短時間の移動でもチャイルドシートを使用すること

多くの事故は、短距離、短時間の移動の際に発生しています。たとえ短い距離の移動でも、お車を使用する場合は、お子さまの安全のためチャイルドシートを正しく使用してください。

常に正しい状態にして適切に使用すること

本製品を適切に使用しないと、急カーブ、急停止、衝突などの衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を設置する自動車の取扱説明書の内容を理解し、その指示に従ってのみ適切に使用することができます。本製品の使用中は、常に正しい状態になるよう適宜確認してください。

指定された固定箇所のみを使用してください

本書に記載されていない、または本製品本体にマーク（印）のない部位に、シートベルトや固定金具を引っ掛けたり、チャイルドシートの重さや力を支えさせたりすると大変危険です。お子さまの安全のため、指定された使用方法、固定方法を厳守してください。

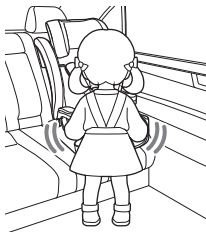
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること
交通事故、落下、挟み込みなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、絶対に使用しないでください。外見上問題がなくても、目に見えない損傷や部品の欠損により、本製品が安全機能を果たせなくなっている可能性があります。また、部品が不足または紛失している場合も使用を中止してください。この場合、保証・修理の対象外となり、安全性が担保できないため新しい製品をご購入いただく必要があります。



走行前には本製品の状態を確認すること

お子さまや他の乗員が本製品に触れたり、座席を操作したりするなどして本製品の状態が変化しているおそれがあります。走行前には、必ず本製品が適切な状態にあるかどうかを確認してください。本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。



使用しない場合でも、車室内では本製品を必ず固定しておくこと
本製品を自動車の座席に固定せず使用すると、通常走行時や交通事故、急制動の際に本製品が移動し、運転操作を妨げたり、他の同乗者に接触する可能性があります。自動車に本製品を乗せる際には、シートベルトで自動車の座席に固定するか車外に出すなどして、自動車の運転中に本製品が車室内で移動しないようにしておいてください。



本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品は、正しく使用することにより自動車の座席にくぼみや傷が生じ、取り付け痕が残る可能性があります。本製品を安全に機能させるために生じるものですので、あらかじめご了承ください。



⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

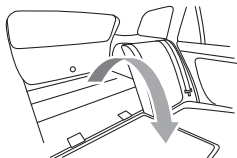
走行中は、本製品を操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



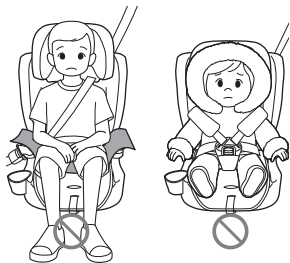
可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



バックルが正しく留まっているか適宜確認すること

お子さまがバックル（ハーネスやシートベルトのバックル）に触れると、バックルが解離してシートベルトが外れるおそれがあります。お子さまには、バックルに手を触れないように言い聞かせ、適宜バックルが正しく留まっていることを確認してください。



不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。ケープや毛布など衣服ではないもの、また、おくみなど、腕や足が出ない（ハーネスやシートベルトを正しく装着できない）構造の衣服、サイズの大きすぎる衣服などを着せて本製品を使用しないでください。また、ダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが

確実にハーネス、シートベルトを装着できるよう、本製品を正しく調節してください。また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。

本書は本製品底面の取扱説明書ホルダーに入れておくこと

いつでも取り扱い方法を確認できるよう、本書は常に本製品底面にある取扱説明書ホルダーに入れて保管しておいてください。

⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品に、重いものを載せたり、自動車のドアや座席のリクライニングで強く挟むと、損傷し安全性能が低下する可能性があります。本製品が強い衝撃を受けたり損傷があった場合は、使用を控えてください。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

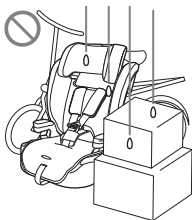
中古品は、その過去の使用履歴や保管環境、使用状況が十分に把握できない場合が多く、視認できない損傷や経年劣化が存在する可能性があります。劣化した本製品は強度等が劣る可能性があり、本製品が安全に機能しないおそれがありますので使用しないでください。

安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、自動車内で使用するジュニアシート（ブースターシート）としてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーカーリーとして使用するなど、本来の目的以外で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



不適切な方法で保管しないこと

部品の劣化や故障を防ぐため、屋外や直射日光、高温、多湿、ホコリの多い場所での保管は避けてください。また、このような状態で長期間保管した場合、劣化のおそれがありますので使用しないでください。

いかなる場合でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的であっても、絶対に本製品やシートベルトバックルに注油してはいけません。



⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

本製品を設置した後に、自動車の座席のリクライニング操作または座席の前後の移動、調整をした場合には、本製品の状態を確認すること

本製品を設置、固定した後に、自動車の座席のリクライニング操作や座席の位置を前後に移動させる操作をすると、設置、固定状態（バックレストとベースの固定が外れるなど）が変化する可能性があります。これらの操作をした後には、必ず本製品の設置、固定の状態を確認して本製品が正しい状態になるようにしてください。



車内の物品は固定しておくこと

急ブレーキ時などに、車内で動く可能性のある物品（荷物など）が、お子さまや他の同乗者に当たって怪我を負わせるおそれがあります。車内の物品は、走行前に必ず適切に固定してください。



トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないようにしてください。

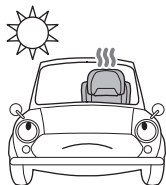


適切な方法でお手入れすること

本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本書の指示に従い正しくお手入れしてください。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないかを確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。



生地部分や一部分のみを持って本製品を持ち上げないこと
本製品を持ち上げる際に生地部分や本製品の一部分だけを持って持ち上げないでください。本製品が破損、落下するおそれがあります。持ち上げる際には、ベース部、バックレスト部に手を添えて本製品を支えるようにしてください。

ISOFIX コネクターの収納について

本製品を ISOFIX で座席に固定する場合を除き、ISOFIX コネクターは必ずベース内に格納しておいてください。格納せずにいると、ISOFIX コネクターが動いて当たり、破損やケガにつながるおそれがあります。

カップホルダーに熱い液体を入れないこと

お子さまがやけどを負うおそれがあるため、カップホルダーには、熱い飲み物などの液体が入った容器は絶対に入れないでください。

また、フタがしっかりと閉まらない容器を使用すると、中身がこぼれることがありますので、あらかじめご注意ください。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

本製品のハーネスやバックルの挟み込みに注意すること

本製品のハーネスやバックルを車の座席やドアに挟み込んだり、引っ掛けたりしないように注意してください。

長時間連続して使用しないこと

お子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレスや疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

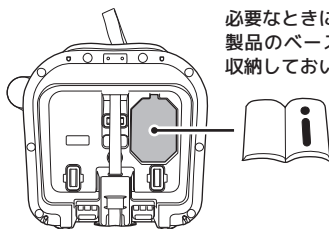
また、安全運転のためにもなりますので、最低でも 1 時間に 1 度は休憩をとるようにしてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車から取り出すこと

自動車内の環境により、樹脂部品などの劣化が進むおそれがあります。日常的に使用しない場合は自動車内から取り出し、湿気が少なく、直射日光の当たらない環境で保管してください。

疑問点がある場合は、販売店、メーカーにお問い合わせください

補修やお手入れ、メインテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客サービスにお問い合わせください。



取扱説明書ホルダー

本書は取扱説明書ホルダーに収納して常時携帯すること
必要なときにいつでも参照できるように、本書は本
製品のベース部底面にある取扱説明書ホルダーに
収納しておいてください。

組み立て

ご使用前に本製品の組み立てが必要です。以下の手順に従って正しく組み立ててください。

⚠危険

正しく組み立てて使用すること

接合部が正しく固定されていなかったり、ハーネス、ベルト類にねじれがあったりすると本製品が正しく機能しません。必ず正しく組み立てて使用してください。

⚠注意

お子さまを近づけないようにしてください

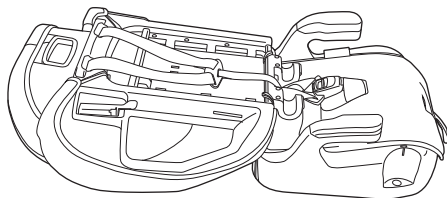
組み立ては安全に注意して、お子さまを近づけないようにして作業してください。

カバー類の挟み込み、干渉にご注意ください

カバー類の生地やパッド類に挟み込みや干渉があると本製品が正しく組み立てられず損傷するおそれがあります。組み立て操作中は、カバー類を接合部に挟まれたり干渉したりしないようご注意ください。

01

本製品は、箱から取り出した状態で下図のようになっています。
以下では箱から取り出した状態からの組み立て方法を説明します。



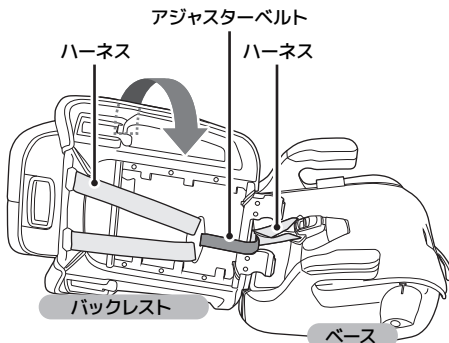
⚠注意

バックレストとベースはハーネスで繋がっています

バックレストとベースは接合されてはいませんが、ハーネスによって繋がっています。どちらか一方を持ち上げると他方がぶら下がりますので、注意してください。
なお、ヘッドサポートはバックレストに取り付けられています。

02

ベースを上に向けた状態にして、バックレストを下図の向きに 180 度回転させます。逆方向に回転させるとハーネス、アジャスターベルトがねじれますのでご注意ください。



⚠注意

図の向きでのみ回転可能です

箱から出した状態の場合、バックレストを反対向きに回転させることはできません。反対向きに回転させるとベルト類（背面部のアジャスターベルト）にねじれが生じます。

👉ポイント!

箱から取り出した際に向きが変わってしまった場合などには、ハーネスやベルト類にねじれがないことを確認して組み立ててください。組み立て後に以下に示す正しい状態になっている必要があります。

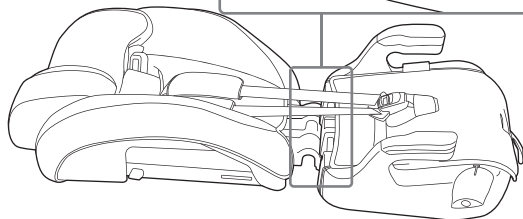
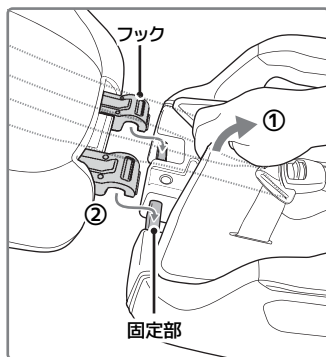
参照 P31 ▶組み立て▶06

回転させにくい場合はバックルを外すと回転させやすくなります。ただしバックルを外すと回転時にハーネスがねじれたりバックレストに引っかかりたりするおそれがありますのでご注意ください。

03

- ①ベースのシートカバーをめくり、
- ②バックレスト下部のフック（左右）を、ベースの固定部左右それぞれに合わせてはめます。

フックのU字部分をベースの固定部に合わせるようにしてはめてください。



⚠注意

ベースのカバーの生地を挟まないように注意してください

固定部にカバーの生地が掛かっていると、正しく固定することができません。

04

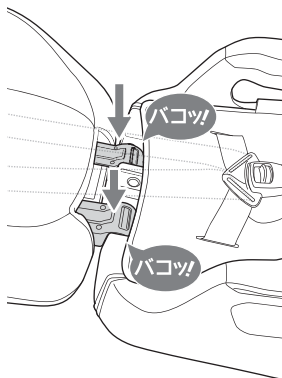
バックレストのフックを強く押し込んで、完全に固定します。

左右とバコッと音がして、しっかりと固定されたことを確認してください。

⚠注意

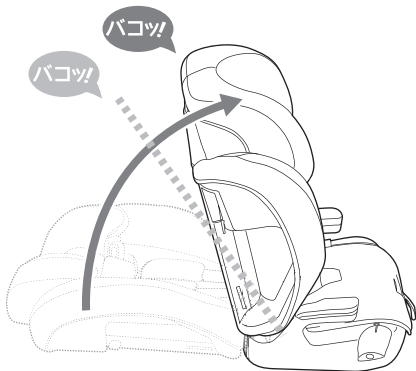
確実に固定すること

フックと固定部は左右ともしっかりと確実に固定してください。固定が不完全な場合、バックレストがベースから外れてしまいます。



05

バックレストを立てます。途中で聞こえる最初のバコッ音の時点ではバックレストは固定されていませんので、そのまま2回目のバコッと音が聞こえるまでバックレストをさらに立ててください。



バックレストを軽く押して、ベースから外れて倒れないことを確認してください。強く押すとバックレストが倒れますのでご注意ください。

 ポイント!

バックレストとベースが正しく固定されていない場合、バックレストを立てる操作の途中でバックレストとベースが外れてしまいます。このような場合はもう一度 03～04 の操作を行って、バックレストとベースを正しく固定してから 05 の操作を行ってください。

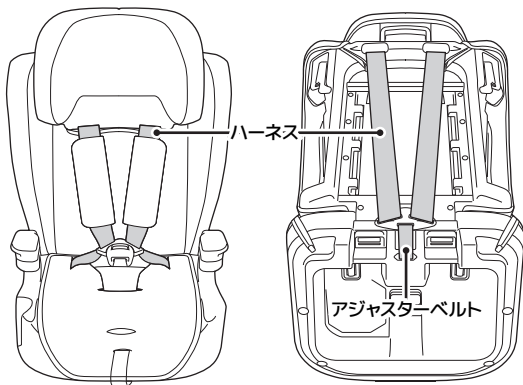
 警告

椅子として使用しないこと、お子さまを座らせないこと

バックレストは、簡易に固定されているだけです。本製品はバックレストを自動車の座席のシート背もたれにあてて使用します。自動車の座席に正しく設置するまでは、お子さまを座らせてはいけません。お子さまがバックレストにもたれかかると、バックレストが後方に倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

06

正面、背面から見てハーネス、アジャスターベルトにねじれがないことを確認します。ねじれがある場合は操作をやり直してください。



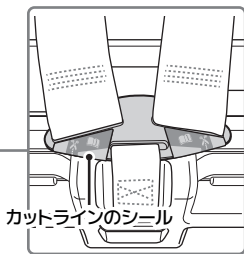
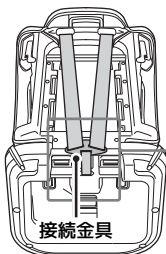
 危険

正しく組み立てて使用すること

接合部が正しく固定されていなかったり、ハーネス、ベルト類にねじれがあったりすると本製品が正しく機能しません。必ず正しく組み立てて使用してください。

ポイント!

背面でハーネスとアジャスターベルトを繋いでいる接続金具には、ハサミの絵図（誤使用を防止するためのカットライン）が表記されています。本製品をハーネスモードからブースターモードに切り替えて使用する場合にハサミでカットするための目印となります。ブースターモードに切り替えて使用するまではカットしないようにしてください。



! ブースターモードに移行するまでは、切り取らないこと

カップホルダー

本製品にはカップホルダーが付属しています。正面から向かって左側にのみ取り付けことができます。



警告

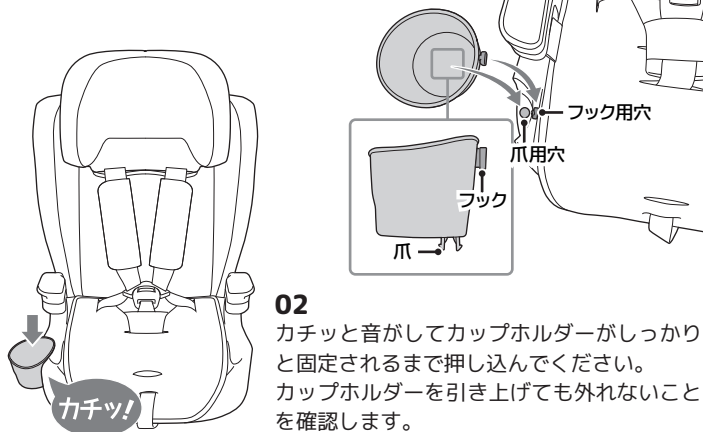
カップホルダーに熱い液体を入れないこと
お子さまがやけどを負うおそれがあるため、カップホルダーには、熱い飲み物などの液体が入った容器は絶対に入れないでください。また、フタがしっかりと閉まらない容器を使用すると、中身がこぼれることがありますので、あらかじめご注意ください。

注意

必ず取り付けておくこと
お子さまがカップホルダーの取り付け部に手指を差し込むなどしてケガをするおそれがあります。使用の有無に関わらず、カップホルダーは取り付けしておいてください。

01

カップホルダー側面のフックと底部の爪を、ベース左側面の取付部のフック用穴、爪用穴にそれぞれ差し込みます。



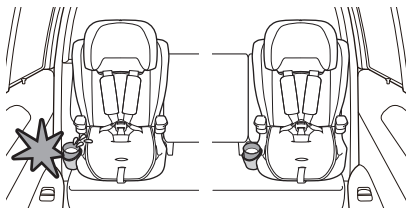
02

カチッと音がしてカップホルダーがしっかりと固定されるまで押し込んでください。カップホルダーを引き上げても外れないことを確認します。

ポイント!

正しく固定されるとカップホルダーは簡単には外せません。取り外す際は、ケガをしないように注意してカップホルダーの底面を強く押し上げてください。

カップホルダーがドア側の座席になる場合（右ハンドル車の場合は運転席後ろの座席）は、ドアの開閉の振動によりカップホルダーの中身がこぼれやすくなりますのでご注意ください。



基本的な使いかた

ここでは本製品の基本的な使用方法について説明しています。ご使用になるモード（ハーネスモード、ブースターモード）によって使いかたが異なる部分があります。お子さまの体重や体格、月齢に合わせて本製品を調節してください。

バックルの使いかた

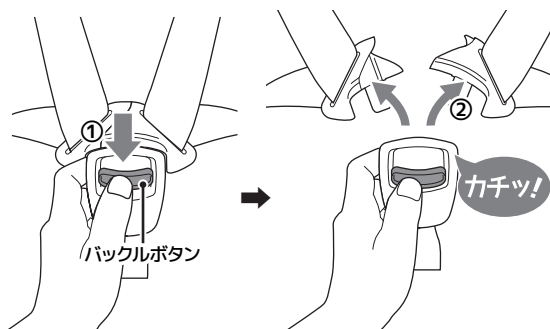
ハーネスモードで使用する場合は、お子さまはハーネスを装着してバックルを留めて使用します。ブースターモードではバックルとハーネスを取り外して、お子さまは3点式シートベルトを装着します。

バックルの外しかた

01

①バックルボタン（赤色のボタン）を押し下げます。

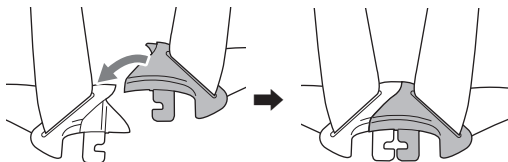
②カチッと音がして左右の差込みタンクが外れます。



バックルの留めかた

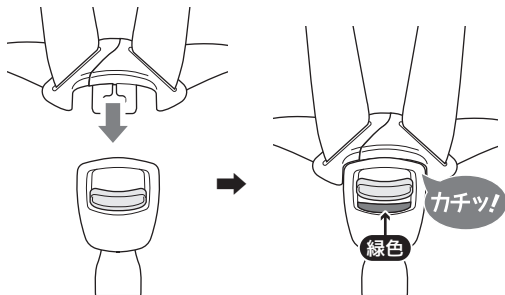
01

左の差込みタングの上に右の差込みタングを重ねます。この時、肩ベルトをねじらないように注意してください。



02

そのまま差込みタングを、カチッと音がするまで受けバックルに差し込みます。バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されたことを確認してください。



⚠危険

緑色のインジケーターが表示されていることを確認すること

差込みタングが受けバックルにしっかりと差し込まれ、緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。万が一差込みタングを受けバックルに差し込んでも緑色のインジケーターが表示されない場合は使用しないでください。

03

軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

 ポイント!

バックルの破損や汚損、お子さまのケガを防ぐため、使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておくようにしてください。

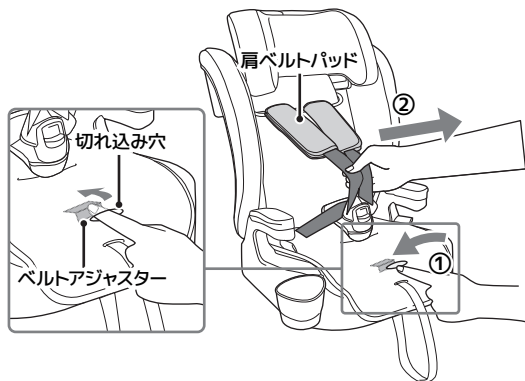
ハーネスの調節

ハーネスモードで使用する場合、お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてお子さまをしっかりと固定できるようにハーネスの長さを調節します。

01

肩ベルトをゆるめるには、

- ① ベース前端のベルトアジャスター（切れ込み穴の内側にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、
- ② 左右の肩ベルトを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと引き出せませんので、肩ベルトを持つようにしてください。



 ポイント!

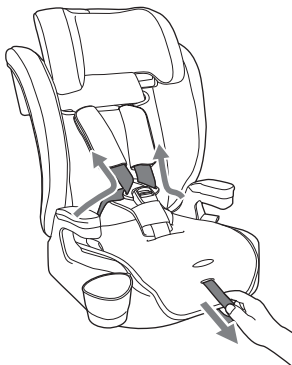
ベルトアジャスター用の切り込み穴は、アジャスターベルトの上にあります。

02

肩ベルトを締めるには、アジャスターベルトを手前側に引きます。

⚠注意

アジャスターベルトを勢いよく引かないこと
勢いよく強くアジャスターベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。
肩ベルトは、お子さまとの間に大人の方の手のひらを差し込める程度になるまでゆっくりと締め付けてください。



ヘッドサポートの調節

お子さまの身長に合わせて、ヘッドサポートを適切な高さに調節します。
ヘッドサポートを調節すると、ハーネスモードではハーネスの肩ベルトの高さが、ブースターモードではシートベルトを通す肩ベルトガイドの高さが、それぞれ適切な位置に連動して調節されます。

いずれのモードで使用する場合も、ヘッドサポートの操作方法是同じです。
お子さまの成長に合わせて、必ず適切な高さに調節してください。

⚠危険

適切な高さに調節すること

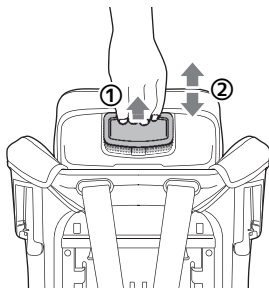
ヘッドサポートが高すぎたり低すぎたりすると、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスやシートベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

ヘッドサポートは 10 段階で高さの調節ができます。

- ①ヘッドサポートアジャストレバーを握り、
- ②ヘッドサポートを上下に動かして高さを調節します。

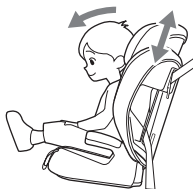
目的の高さでヘッドサポートアジャストレバーから手を離すとその高さでヘッドサポートが固定されます。



⚠ 注意

ヘッドサポートの調節時には少しお子さまを前かがみにさせてください

お子さまの負担を軽減し、正しくヘッドサポートの高さを調節するために、お子さまを乗せた状態でヘッドサポートの高さを調節する際にはお子さまを少し前かがみにさせてください。



👉 ポイント!

ヘッドサポートを上方向に動かした際、ハーネスが短く調節されていると、一定以上高さを上げられなくなることがあります。

このような場合は、先にハーネスをゆるめてから、ヘッドサポートの高さを調節してください。

参照 P36 ▶ハーネスの調節▶ 01

02

ハーネスモード、ブースターモードのヘッドサポートの適切な高さについては、それぞれ以下を参照してください。

参照 P51 ▶お子さまの乗せかた▶ 05

参照 P73 ▶お子さまの乗せかたと調節▶ 09

03

ヘッドサポートを軽く動かして、しっかりと固定されていることを確認してください。

ハーネスモードで使用する

ハーネスモードは以下の条件で 사용할 수 있습니다。



身長	76cm～105cm
体重	9kg～21.5kgまで
月齢・年齢	生後15ヵ月を過ぎてから4歳頃まで
座席への取り付け	3点式シートベルト
取り付けの向き	進行方向に対して前向き
お子さまの固定方法	本製品のハーネス

⚠危険

生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないこと

お子さまを適切に保護できないおそれがあります。お子さまの身長が本製品の使用に適していたとしても（身長 76cm 以上）、いずれのモードであっても生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。

体重 21.5kg を超えたらハーネスモードでは使用しないこと

お子さまの体重が 21.5kg を超えた場合はハーネスモードでは使用しないでください。本書の指示に従い、ブースターモードに切り替えてご使用ください。

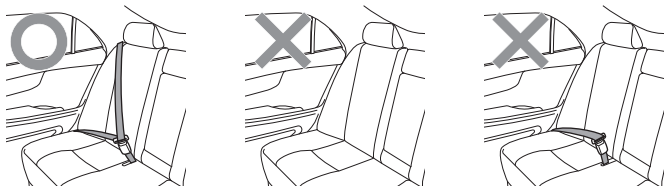
お子さまの肩がハーネスの上限よりも高くなったらハーネスモードでは使用しないこと

ヘッドサポートを最も高い位置に調節しても、お子さまの肩が肩ベルトの取り出し口よりも上になる場合は、ハーネスモードでは使用しないでください。本書の指示に従い、ブースターモードに切り替えてご使用ください。

自動車の座席への取り付け

ハーネスモードを使用する際は、本製品を必ず 3 点式シートベルトで自動車の座席に取り付けて固定する必要があります（ブースターモードではこの操作は行いません）。

3 点式シートベルト以外のシートベルト（2 点式、5 点式など）や他の方法を用いて本製品を固定することは禁じられています。



👉 ポイント!

本製品は ISOFIX 固定装置には対応していません。

⚠️ 注意

お子さまを本製品に乗せた状態で座席への取り付け操作を行わないでください。本製品が正しく取り付けできず、お子さまや取り付け操作を行う方のケガにつながるおそれがあります。また、安全のため本製品の取り付け操作時はお子さまを近づけないようにしてください。

バックレストの固定状態に注意すること

取り付け、取り外し、設置操作中にベース、バックレストのいずれか一方だけを持つと固定が外れるおそれがあります。ベースとバックレストの両方を持つようにしてください。固定が外れてしまった場合は、もう一度ベースとバックレストを固定しなおしてください。

あらかじめ、取り付けようとする座席が本製品に対応していることを確認してください。

参照 P6 ▶ 適合する自動車の座席について / P14-17 ▶ 自動車の座席に関して

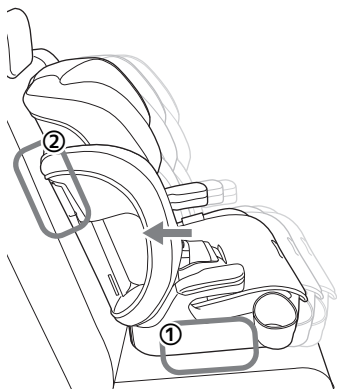
👉 ポイント!

以下は、自動車を正面から見て右側の座席で本製品を使用する場合を説明しています（右ハンドル車の助手席後座席）。左側の座席で使用する場合は、左右が逆になりますのでご注意ください。

01

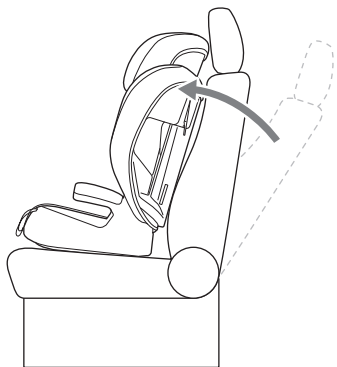
本製品を座席の中央に置き、シートバックもたれ側に押し付けて設置します。

- ①ベースの底面がシート座面に、
 - ②バックレストがシートバックもたれに、それぞれ接するようにしてください。
- 本製品をシートベルトやその他のものの上に置かないように注意してください。



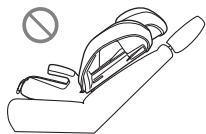
02

リクライニングを調節できる座席の場合、バックレストの角度に近い状態にリクライニングを調節してください。リクライニングの調節のしかたは自動車の取扱説明書をご確認ください。バックレストの角度の調節はできませんのでご注意ください。



⚠危険

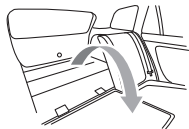
バックレストとベースを固定すること
バックレストをしっかりと立てて、ベースに正しく固定された状態でのみご使用いただけます。
固定が不完全な状態では、安全性能が発揮できないため、絶対に使用しないでください。



⚠ 警告

可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



03

ヘッドサポートが座席のヘッドレストに干渉する場合は、ヘッドレストの高さや角度を調節するか、取り外して干渉しないようにしてください。ヘッドレストを取り外した際は、急ブレーキ時などに動いて乗員に当たらないよう、トランクにしまうなど必ず適切に固定、保管してください。



👉 ポイント!

お子さまの成長に従い、ヘッドサポートを高く調節するとヘッドレストに干渉するようになることがあります。

⚠ 警告

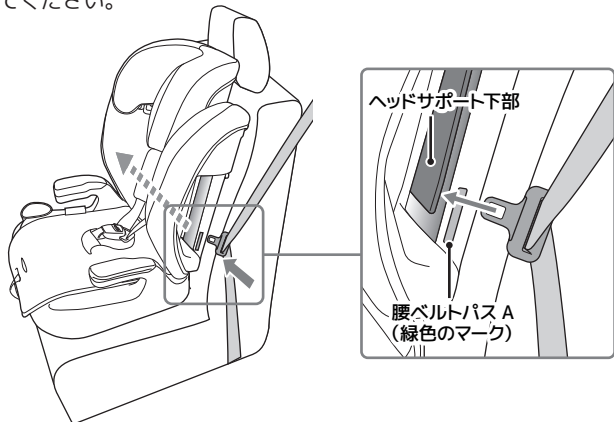
ヘッドレストに干渉した状態で使用しないこと

ヘッドサポートが自動車の座席のヘッドレストに干渉していると、本製品が正しく設置、固定、取り付けできずに本製品が所定の安全性能を発揮することができません。特に、ヘッドサポートを高く調節した場合にヘッドレストへの干渉が生じやすくなりますので、ヘッドサポートの高さを調節する場合は特にご注意ください。

04

シートベルトをゆるめて、ヘッドサポート下部の上に重ねないように注意してシートタングを腰ベルトパス A に差し入れて、反対側の腰ベルトパス A から抜き出します。

シート腰ベルトは、左右の緑色マークの腰ベルトパス A の部分を通すようにしてください。



ポイント!

ヘッドサポート下部が分からない場合、ヘッドサポートを上下に動かしてみてください。連動して上下に動く部分がヘッドサポート下部になります。

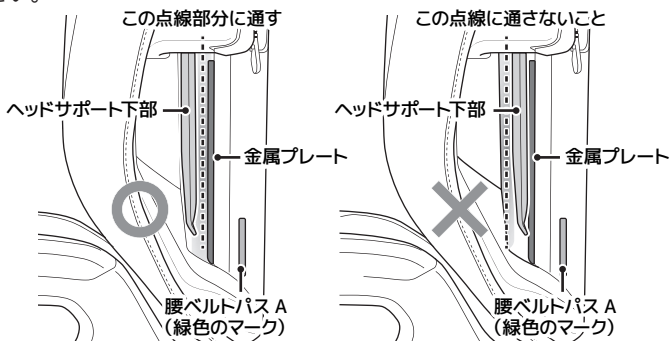
⚠危険

シートベルトをねじらないようにすること

シートベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

05

下図を参照して、シートベルトが正しい位置を通っていることを確認してください。

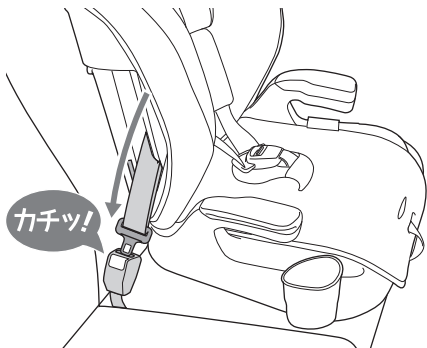


ポイント!

シートタングは、バックレスト内側の金属プレートの上を通るようにしてください。ヘッドサポートの高さを調節をするとヘッドサポート下部も上下に動きますので、ヘッドサポートの上をシートベルトが通ると、シートベルトがヘッドサポートを押さえつけてしまい、本製品が正しく固定できなくなるおそれがあります。

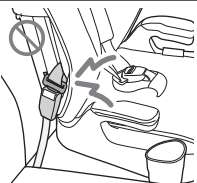
06

シートベルトにねじれがない事を確認して、シートタングをシートバックルにカチッと音がするまでしっかりと差し込んで留めます。



⚠危険

シートバックルが干渉する座席では使用しないこと
シートバックルのベルトが長すぎる、シートバックルの位置が前方すぎるなどして、腰ベルトパス A にシートバックルが干渉する場合、グラつきが生じるなどして本製品をしっかりと固定することができませんので、そのような座席では使用しないでください。

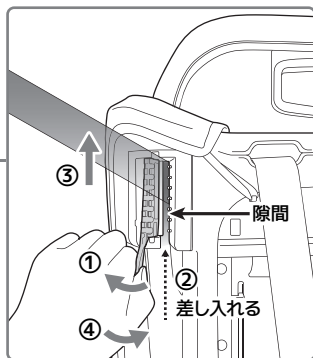
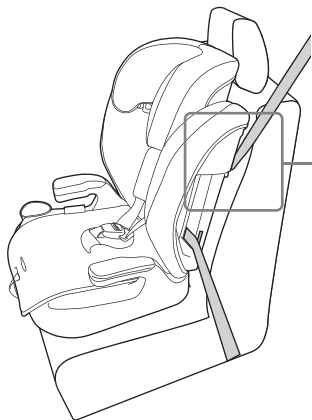


07

シートベルトの取り出し口側（シートバックルの反対側）にある、

- ①ロックオフデバイス（緑色）を開き、
- ②できた隙間にシート肩ベルトのみを差し入れます。
- ③そのままシート肩ベルトをしっかりと上まで引き上げてから、
- ④ロックオフデバイスを閉じます。

ロックオフデバイスはバネで開閉しますので、ロックオフデバイスから手を離すと自動的にシート肩ベルトを挟んだ状態で閉じます。



👉ポイント!

ロックオフデバイスにはシート肩ベルトのみを通します。シート腰ベルトは通さないでください。シート腰ベルトは、腰ベルトパス A の部分を通します。

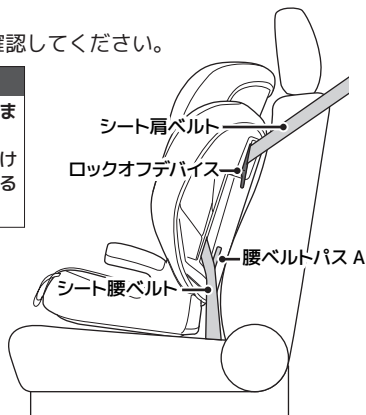
08

図のような状態になっていることを確認してください。

⚠危険

この状態では本製品の固定は完了していません

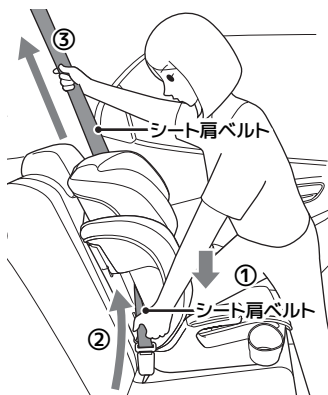
この後、必ずシートベルトを強く締め付ける操作を行い、本製品が完全に固定されるまでは、絶対に使用しないでください。



09

バックルやハーネスに注意して、

- ①片膝をベースの座面部にさせるなどして（バックルやハーネスに乗せないように注意してください）、本製品を強く座席の座面に押しつけながら、
 - ②シートバックル側のシート肩ベルトを強く引いて締めつつ、
 - ③シートベルトの取り出し口側のシート肩ベルトを強く引いてください。
- シート肩ベルトは②、③の順で締めます。②のみを締めても本製品を強く固定できません。②を締めたら、続けて①を締めてください。できる限り強く締めるようにします。



⚠ 注意

シート腰ベルトを掴まないように注意してください

②のシート肩ベルト引く際に、シート腰ベルトを掴まないようにしてください。シート肩ベルトとシート腰ベルトを両方（またはシート腰ベルトのみ）掴むと、シートベルトの締め付けができません。

10

本製品がグラグラせず、しっかりと固定されていることを確認してください。グラグラする場合は、もう一度取り付けなおしてください。



⚠ 危険

しっかりと固定すること

締め付けがゆるく、取り付けが不十分な場合、事故や衝撃を受けた際に本製品が外れたり、お子さまに過剰な衝撃が加わるおそれがあります。

⚠ 警告

取り付け後の座席の移動、リクライニングの変更にご注意ください

本製品を取り付けた後に、車両の座席を前後に動かしたり、リクライニング角度を調節したりすると、本製品の固定状態に影響をおよぼすおそれがあります。

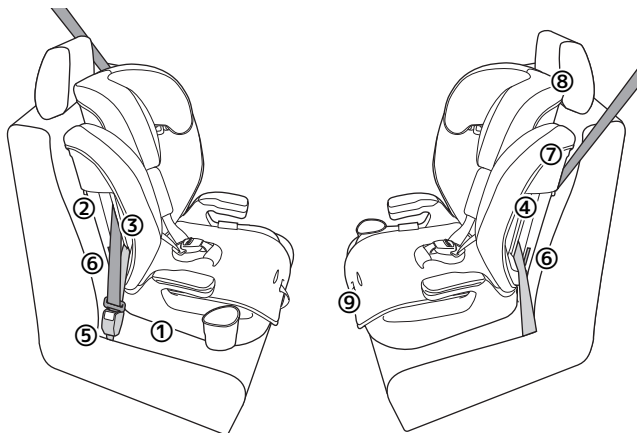
これらの操作を行った場合は、必ず取り付け状態を確認してください。グラつきが生じたり、固定に影響が出ている場合は、そのまま使用せずに取り付け操作をやり直してください。

11

最後に、次のチェックリストを確認してください。

適切でない部分があれば、本書の指示に従い適切な状態に修正してから使用してください。

✓Check!



- ①ベースの底面がシート座面に接していること。
- ②バックレストがシート背もたれに接していること。
- ③シート肩ベルト、シート腰ベルトにねじれとゆるみがなく、しっかりと締め付けられていること。
- ④シート肩ベルト、シート腰ベルトがヘッドサポートに干渉していないこと。
- ⑤シートバックルがしっかりと固定されていること。シートバックルが本製品に干渉していないこと。
- ⑥シート腰ベルトが左右の腰ベルトパスAの部分（緑色のマークの部分）を通っていること。
- ⑦シート肩ベルトがロックオフデバイスを通りしっかりと固定されていること。
- ⑧ヘッドサポートがヘッドレストと干渉していないこと。
- ⑨本製品がグラつきなくしっかりと固定されていること。

12

取り外しは逆の手順で行います。取り外した本製品はそのまま車内には置かず、車外で保管してください。

お子さまの乗せかた

お子さまは本製品のハーネスを装着します。

⚠警告

座席に取り付けるまでは座らせないこと

バックレストとベースは簡易に固定されているだけです。自動車の座席に正しく設置するまでは、お子さまを座らせてはいけません。お子さまがバックレストにもたれかかると、バックレストが後方に倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

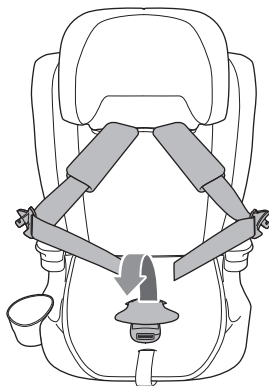
01

あらかじめハーネスをゆるめてバックルを外しておきます。

参照 P36 ▶ハーネスの調節▶ 01

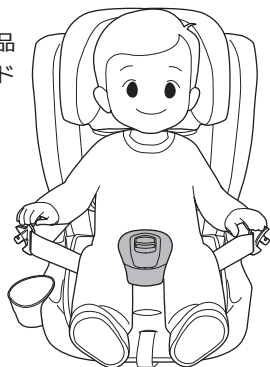
02

ハーネスの肩ベルトを外に出して、股ベルトパッド（受けバックル）を前方に倒しておきます。



03

お子さまを楽な姿勢にして腰を深くして本製品に座らせます。背筋を伸ばして股ベルトパッド（受けバックル）を両足の間に入れます。



ポイント!

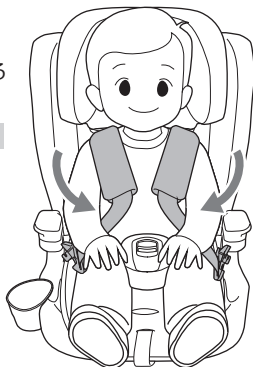
お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



04

左右の肩ベルトをお子さまの腕に通します。肩ベルトがきつい場合はハーネスをさらにゆるめてください。

参照 P36 ▶ハーネスの調節▶ 01

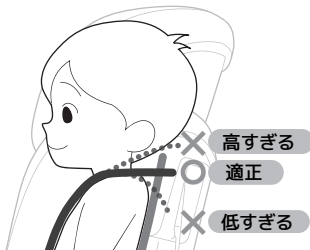


05

ヘッドサポートを操作して肩ベルトを適切な高さに調節します。

ハーネスモードの場合、肩ベルトはお子さまの肩の位置と水平の位置に調節します。お子さまの肩の高さよりも低い位置や高すぎる位置の場合、お子さまがハーネスから抜けるおそれがあります。

参照 P37-38 ▶ヘッドサポートの調節



ポイント!

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適切な高さになっていることを使用毎に確認するようにしてください。肩ベルトの高さ（ヘッドサポートの高さ）は、お子さまの成長に合わせて都度適切に調節してください。

06

ハーネス（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）にねじれがないことを確認してください。腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るように調節して「カチッ」と音がするようにしっかりとバックルを留めます。

ポイント!

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをゆるめてからバックルを留めます。

参照 P36 ▶ハーネスの調節 ▶ 01



腰ベルトを骨盤の上に通す

⚠危険

腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと

腰ベルトが骨盤の上を通っていないと、事故や衝撃を受けた際に腹部や腿に過剰に負担が掛かり重大な事故につながるおそれがあります。

ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを必ず確認してください。

必ずバックルの状態を確認すること

差込みタングが受けバックルにしっかりと差し込まれ、緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。差込みタングを受けバックルに差し込んで緑色のインジケーターが表示されない場合は、ご使用にならないでください。

07

- ①肩ベルトとお子さまの間に、掌を差し込み、
- ②アジャスターベルトをゆっくりと引いて締めつけます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれる程度まで締め付けるようにします。

 **ポイント!**

締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、ハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P36 ▶ハーネスの調節▶ 01



⚠警告

ハーネスは適切に調節すること

ハーネスは強く締めるほどお子さまの保護力は高まりますが、締め付けすぎるとお子さまが苦しくなります。

逆に、締め付けが緩すぎると、走行中にお子さまがシートから落下したり、衝突時に飛び出したりするなど、非常に危険です。

お子さまの体にフィットする、適切な強さで締め付けるようにしてください。

08

以下のチェックリストをすべて確認し、本製品が正しい状態であることを確認してください。

一つでも正しくない項目がある場合は、そのまま使用せず、必ず正しい状態にしてからご使用ください。

✓Check!

- ①肩ベルトの高さが適切に調節されていること。
- ②ハーネスが適切に締め付けられていること
(掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれる程度)。肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと。
- ③バックルがしっかりと留まっていること。
受けバックルに緑色のインジケーターが表示されていること
- ④腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。
- ⑤お子さまが正しい姿勢で座っていること。



⚠危険

ハーネスは常に正しい状態で装着してください

ハーネスがゆるんでいたり、肩ベルトが腕の位置や脇の下、頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていたりすると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。

ハーネスは必ず正しい状態にして、ハーネスがずれたり、ゆるんだりしていないか適宜確認するようにしてください。

👉ポイント!

本製品のバックルは、お子さまには外しにくいように設計されていますが、安全のため、お子さまにはバックルに触れないように言い聞かせるようにしてください。

09

お子さまを降ろす場合は、バックル、ハーネスを外してお子さまの腕を抜き、ハーネスに引っ掛かったりしないよう注意して、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

ブースターモードで使用する

ブースターモードは以下の条件で 사용할 수 있습니다。



身長	100cm～150cm
体重	15kg～36kgまで
月齢・年齢	3.5歳頃から12歳頃まで
座席への取り付け	3点式シートベルト
取り付けの向き	進行方向に対して前向き
お子さまの固定方法	3点式シートベルト

ポイント!

ハーネスモードとは異なり、ブースターモードでは本製品は自動車の座席に固定されていません。このため、お子さまが乗車していない状態で走行すると、急ブレーキ時などにチャイルドシートが車内で動いて、他の乗員に当たるなどのおそれがあります。お子さまが使用しない場合は、本製品を車外に出して保管するか、本製品が車内で移動しないように、適切な方法で固定しておいてください。

ブースターモードへの切り替え

ブースターモードで使用する場合は、ブースターモードへの切り替え操作が必要となります。

ブースモードからハーネスモードへの切り替えはできません

一旦、ハーネスモードからブースターに切り替えると、ハーネスモードに戻すことはできません。ハーネスモードとブースターでは重複する使用可能な期間が多少ありますので、その間にモードの切り替えを行ってください。

重要



⚠注意

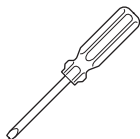
モード切り替えと修理に関するご注意

一度ブースターモードに切り替えると、ハーネスモードに戻すことはできません（適合基準の規定により、当社での修理対応もできません）。また、この操作（ブースターモードからハーネスモードに戻せないこと）は、保証の対象外となります。

ハーネスモードは、身長 105cm、体重 21.5kg までご使用いただけます。切り替えは慎重に行ってください。

01

ハーネスモードからブースターモードへの切り替えには以下の工具が必要となります。あらかじめお手元にご用意ください。



マイナスドライバー



ハサミ

⚠注意

切り替え操作中は、お子さまを近づけないこと

お子さまがケガをするおそれがあります。ハーネスモードからブースターモードへの切り替え操作は自動車内では行わず、室内の安全な場所で、お子さまを近づけずに行ってください。

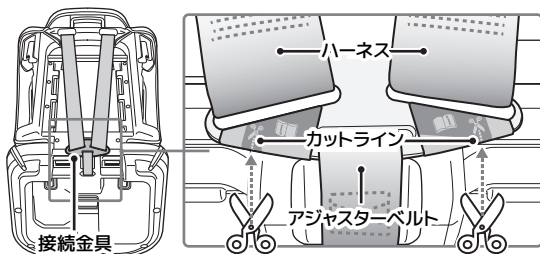
02

本製品が組み立てられていない場合（箱から出した状態など）は、あらかじめ組み立てておきます。

参照 P27-32 ▶組み立て

03

ベースとバックレストの接合部の背面にある、ハーネスとアジャスターベルトを繋いでいる接続金具を確認してください。接続金具に貼られているシールに表記されているカットラインに沿って、ハサミで切り離します。左右とも同じようにします。



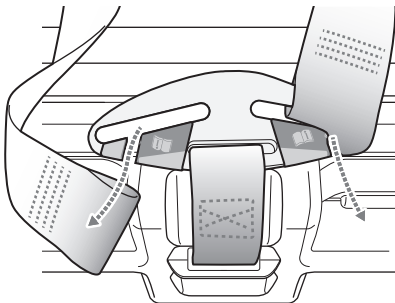
ポイント!

ブースターモードからハーネスモードに戻すことはできません。

シールをカットして接続金具からハーネスを外した場合、元に戻すことが認められておりません。あらかじめご了承ください。

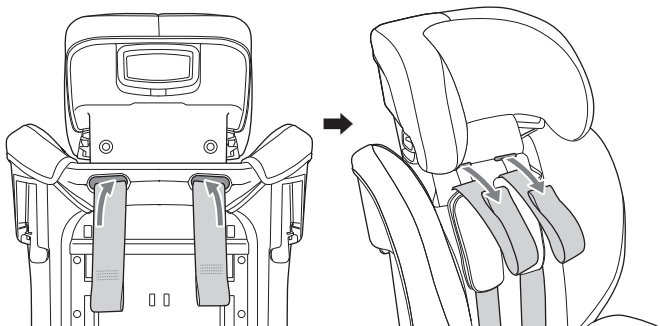
04

カットした接続金具の開口部から左右のハーネスを抜き取ります。



05

肩ベルトをバックレストの背面の通し穴に押し込んで前側に抜き取ります。左右とも同じようにしてください。



ポイント!

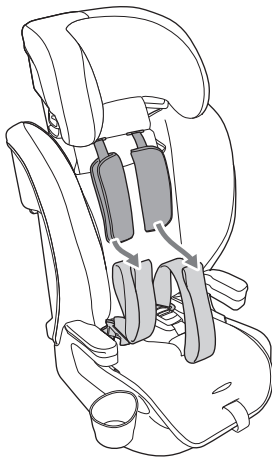
バックレストの表側から肩ベルトを引くだけでも抜き取りができますが、肩ベルトパッドを引いても抜き取りできませんのでご注意ください。

06

肩ベルトパッドから肩ベルトを抜き取ります。左右とも同じようにしてください。

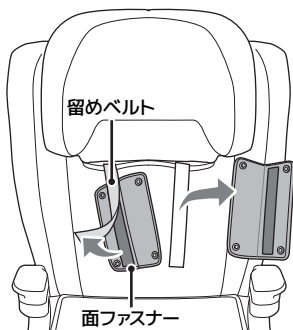
ポイント!

ズレを防止するため、肩ベルトパッドは肩ベルトとは接続されていません。肩ベルトパッドは筒状になっていますので、筒から抜くようにして肩ベルトを抜き取ってください。



07

肩ベルトパッドのホックボタンを外して開きます。左右の肩ベルトパッドとも同じようにしてください。

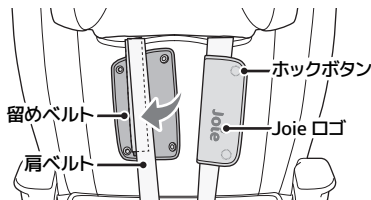


08

留めベルトに肩ベルトパッドを留めている面ファスナーを外して、肩ベルトパッドを取り外します。左右とも同じようにしてください。

ポイント!

肩ベルトパッドは、ハーネスモードでの使用中にもお手入れのために取り外すことができます。取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。この際、肩ベルトパッドを留めベルトに留め、そこに肩ベルトを重ねてからホックボタンを留めてください。「Joie」のロゴのある肩ベルトパッドを向かって右にして、ホックボタンが外側になるようにして取り付けてください。



⚠危険

ハーネスモード時は肩ベルトパッドを必ず取り付けること

ハーネスモードをご使用の際は、肩ベルトパッドを必ず取り付けてください。

お手入れのために一時的に取り外した場合でも、お子さまを正しく保護するため、使用前には必ず装着し直してください。

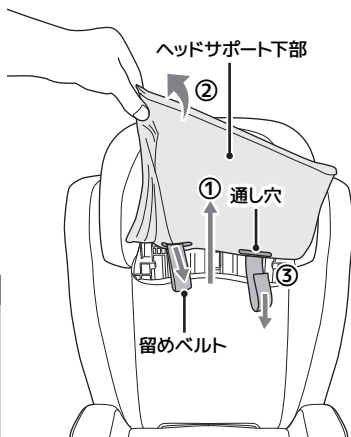
09

- ①ヘッドサポートの下部（プラスチックプレートが入ったパッド部）を引き上げて、バックレストのカバーから抜き出し、
 - ②めくります。
 - ③ヘッドサポート下部の通し穴から留めベルトを抜き出します。
- 左右とも同じようにしてください。

⚠注意

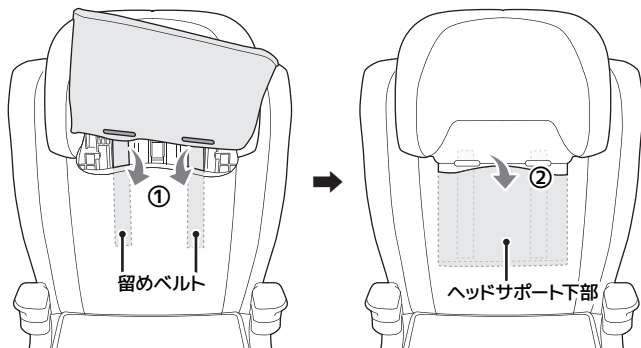
留めベルトをバックレストの裏側まで抜き出さないこと

ヘッドサポートの操作に干渉するおそれがありますので、留めベルトをバックレストから抜き取ろうとしないでください。



10

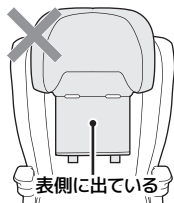
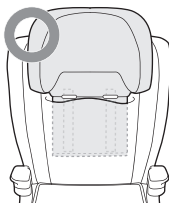
- ①左右の留めベルトをバックレストのカバーの内側に入れて、
- ②ヘッドサポート下部（パッド部）をバックレストのカバーの内側に戻します。



⚠ 注意

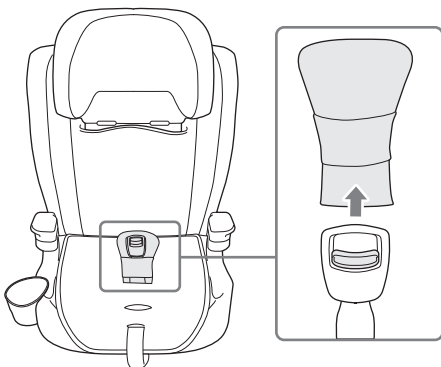
パッド留めベルト、ヘッドサポート下部(パッド部)はバックレストのカバーの内側に入れること

シートベルトに干渉するなどにより、お子さまがシートベルトを正しく装着できなくなるおそれがあります。左右の留めベルトとヘッドサポート下部は両方ともバックレストのカバーの内側に入れておいてください。



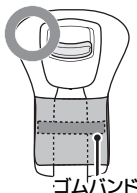
11

受けバックルから股ベルトパッドを引き抜きます。



👉 ポイント!

股ベルトパッドは、お手入れのためにも取り外すことができます。取り付けは取り外しの逆の手順で行いますが、図のように受けバックル(股ベルト)がゴムバンドの下側になるようにして取り付けてください。



⚠ 危険

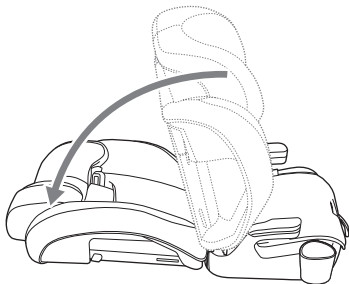
ハーネスモード時は股ベルトパッドを必ず取り付けること

ハーネスモードをご使用の際は、股ベルトパッドを必ず取り付けてください。

お手入れのために一時的に取り外した場合でも、お子さまを正しく保護するため、使用前には必ず装着し直してください。

12

平らで安定した場所に本製品を置いて、バックレストを倒しておきます。バックレストを片手で支えながら、後方へ押し倒すようにして固定を解除してください。



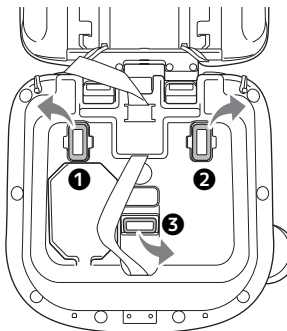
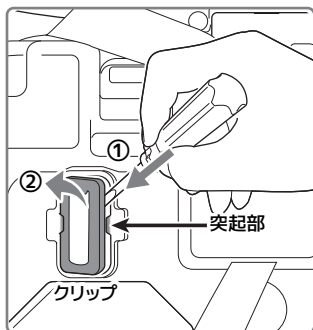
13

本製品を裏返して、ベース底面でハーネス（左右 2 カ所①②）と股ベルト（③）をそれぞれ留めている、金属製のクリップを取り外します。

①クリップの隙間にマイナスドライバーを差し入れて、

②クリップを突起部から外します。

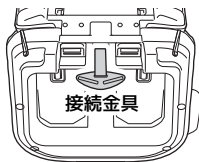
3 カ所とも同じようにしてください。



⚠ 注意

接続金具にご注意ください

バックレストに接続金具がぶら下がった状態になっています。接続金具があたるなどしてケガをしたり、物にキズを付けるおそれがありますので注意して操作してください。



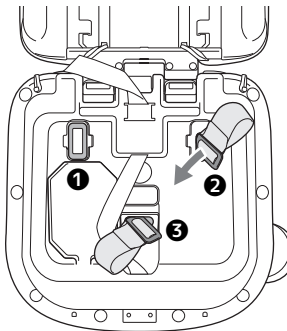
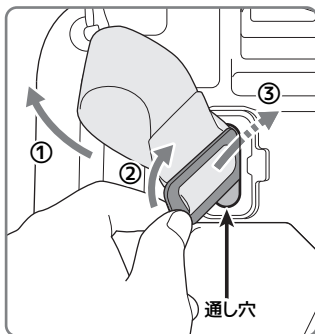
14

①クリップのベルト（左右のハーネス①②および股ベルト③）を少し引き出して、

②クリップを回転させて角度を調節し、

③それぞれの通し穴に押し込んでそのまま表側に出します。

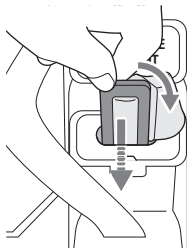
股ベルトのクリップ③は押し込む際の角度によっては内部に引っかかるおそれがありますので、以下の注意を参照してください。



⚠注意

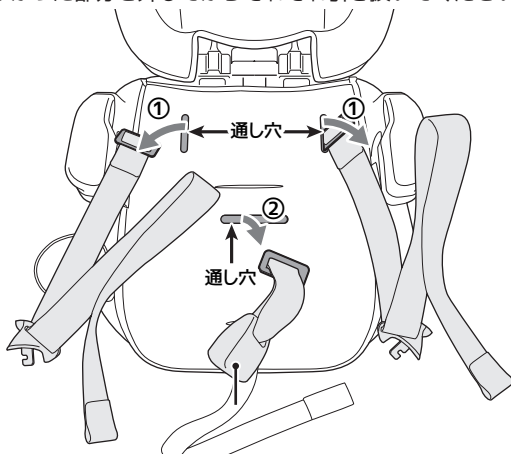
股ベルトのクリップ③は、縦横垂直にした状態のまま表側に引き抜いてください

股ベルトのクリップがベース内部で引っかかるおそれがあります。股ベルトのクリップは、斜めにせず通し穴に対して垂直になるように回転させて、まっすぐに押し込んで、そのまま表側に引き出してください。



15

- ①左右の通し穴からクリップ・ハーネスをそれぞれ通し穴から抜き取り、
 - ②クリップ・股ベルト / 受けバックルを通し穴から抜き取ります。
- 抜き取りの操作時に引っかかった感じがする場合は無理に引き抜こうとせず、引っかかった部分を外してからそれぞれ引き抜いてください。



⚠ 注意

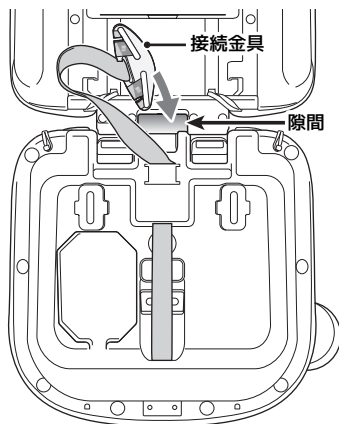
お子さまの手が届かないようにしておくこと

抜き取った部品（ハーネス、股ベルトおよびパッド類）でお子さまが遊んだりすると、窒息やケガにつながるおそれがありますので、お子さまの手が届かないようにしておいてください。

廃棄する場合は、お子さまの手が届かないようにしてお住まいの自治体の規定に従って正しく廃棄してください。

16

接続金具を、バックレストとベースの接合部中央の隙間から、ベルトをねじらないように注意して表側に抜き出します。

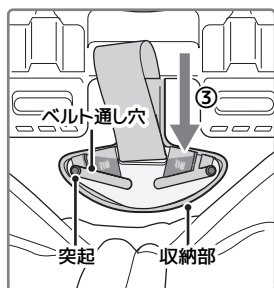
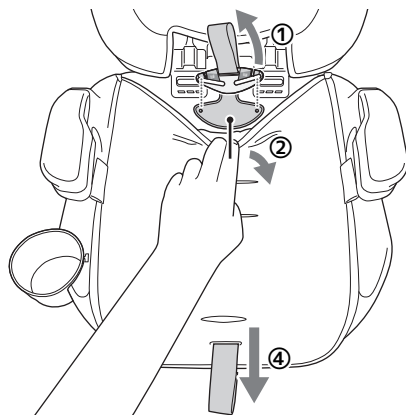


ポイント!

接続金具のベルトが短すぎて隙間に通せない、または以降の操作ができない場合は、ベルトアジャスターを使用して接続金具のベルトをゆるめます。この場合、ベルトアジャスターを押し込みながら接続金具を持って引き出すようにしてください。

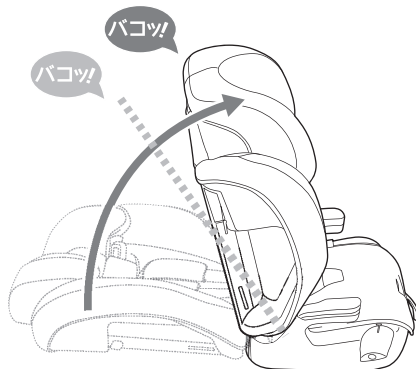
17

- ①接続金具を表側に引き抜いて、
- ②ベースのシートカバー側の後部を収納部が現れるまでめくります。接続金具のベルトにねじれがないことを確認して、
- ③ベルト通し穴を収納部の突起と位置を合わせて、接続金具を収納部に収めます。
- ④アジャスターベルトを引いて、接続金具のベルトのたるみを除きます。



18

バックレストを立てます。

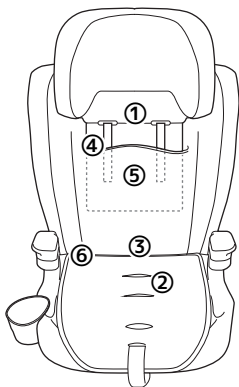


19

以下のチェックリストに従い、正しい状態になっていることを確認してください。

✓Check!

- ①左右のハーネスが取り外されていること。
- ②股ベルト（受けバックル）、股ベルトパッドが取り外されていること。
- ③接続金具が所定のベースの収納部に格納されていること。接続金具のベルトにねじれやゆるみがないこと。
- ④肩ベルトパッドが左右とも取り外されていて、パッド留めベルトがバックレストのカバーの内側に入っていること。
- ⑤ヘッドサポート下部パッド部がバックレストのカバーの内側に入れられていること。
- ⑥ベースとバックレストが外れていないこと。バックレストがしっかりと立てられていること。



⚠危険

間違った状態で使用しないこと

チェックリストを確認し、一つでも正しくない状態がある場合はそのままにせず、正しい状態にしてからブースターモードで使用してください。

間違った状態で使用すると、本製品が安全に機能しないばかりか、間違った状態が影響して重大な事故につながるおそれがあります。

特に、左右のハーネス、股ベルト（股ベルトパッド）、左右の肩ベルトパッドにご注意ください。これらのベルト類等は本製品から完全に取り外してください。これらがシートカバーの内側に入っていたりすると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなります。

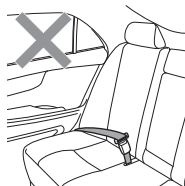
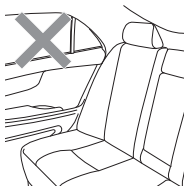
お子さまの乗せかたと調節

お子さまは3点式シートベルトを装着します。

👉ポイント!

ブースターモードの場合、本製品を座席に設置してお子さまを座らせて3点式シートベルトを装着します。このため、お子さまが乗っていない状態では本製品は自動車の座席に固定されません。

適格が確認された3点式シートベルトを装備した座席でのみ使用することができます。2点式、5点式シートベルトなど、3点式シートベルト以外のシートベルトや他の方法を用いて使用することはできません。

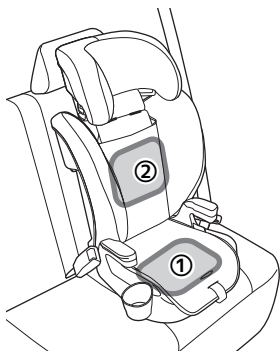
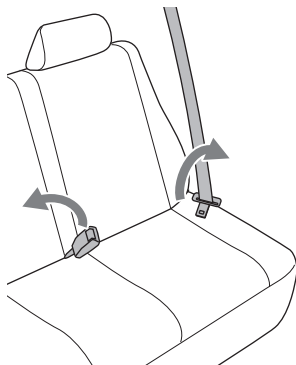


👉ポイント!

以下は、自動車を正面から見て右側の座席で本製品を使用する場合を説明しています（右ハンドル車の助手席後ろ座席）。左側の座席で使用する場合は、左右が逆になりますのでご注意ください。

01

本製品を設置する座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



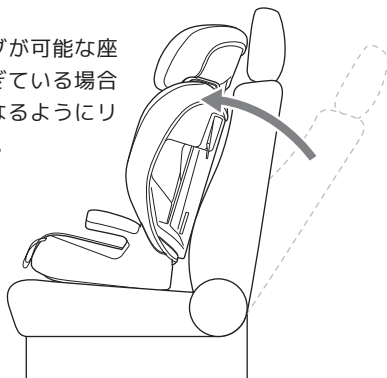
02

座席の中央に、本製品を前向きにして置きます。

①ベースの底面がシート座面に、
②バックレストがシート背もたれに、
それぞれ接するようにしてください。
本製品をシートベルトやその他のものの上に置かないように注意してください。

03

シート背もたれのリクライニングが可能な座席で、シート背もたれが倒れすぎている場合は、バックレストの角度に近くなるようにリクライニングを調節してください。

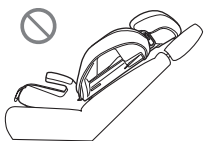


⚠ 危険

バックレストとベースを固定すること

バックレストをしっかりと立てて、ベースに正しく固定された状態でのみご使用いただけます。

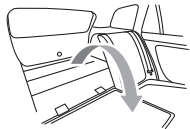
固定が不完全な状態では、安全性能が発揮できないため、絶対に使用しないでください。



⚠ 警告

可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



04

ヘッドサポートが座席のヘッドレストに干渉する場合は、ヘッドレストの高さや角度を調節するか、取り外して干渉しないようにしてください。ヘッドレストを取り外した際は、急ブレーキ時などに動いて乗員に当たらないよう、トランクにしまうなど必ず適切に固定、保管してください。

👉 ポイント！

お子さまの成長に従い、ヘッドサポートを高く調節するとヘッドレストに干渉するようになります。



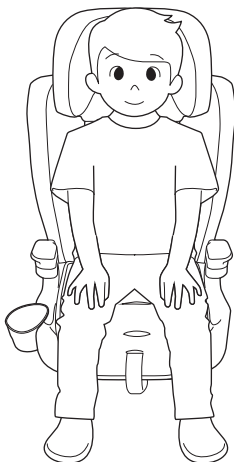
⚠ 警告

ヘッドレストに干渉した状態で使用しないこと

ヘッドサポートが自動車の座席のヘッドレストに干渉していると、本製品が正しく設置、固定、取り付けできずに本製品が所定の安全性能を発揮することができません。特に、ヘッドサポートを高く調節した場合にヘッドレストへの干渉が生じやすくなりますので、ヘッドサポートの高さを調節する場合は特にご注意ください。

05

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。腰を深くして、バックレストに背中をつけ、ベースの座面左右中央に座らせてください。



ポイント!

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる

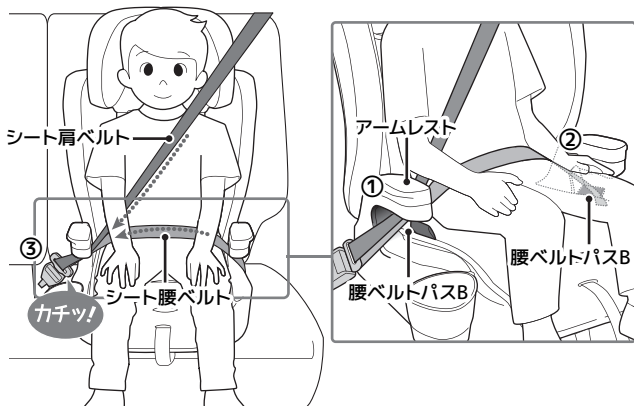


深すぎる

06

シートベルトをねじらないように注意して、

- ①シートバックル側の腰ベルトパス B（緑色のラベルで指示されています）にシート肩ベルトとシート腰ベルトを通し、
- ②自動車のドア側の腰ベルトパス B にシート腰ベルトを通して、
- ③シートバックルを留めます。カチッと音がしてしっかりと留まっていることを確認してください。

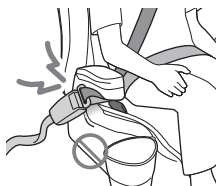


ポイント!

腰ベルトパスは、アームレスト下側の緑色の生地の部分です。

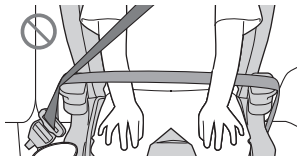
⚠危険

シートバックルが干渉する座席では使用しないこと
シートバックルのベルトが長すぎる、シートバックルの位置が前方すぎるなどして、腰ベルトパス B にシートバックルが干渉する場合、グラつきが生じるなどして本製品をしっかりと固定することができませんので、そのような座席では使用しないでください。



⚠危険

シートベルトは腰ベルトパスを通すこと
腰ベルトパスは、アームレストの下側です。アームレストの上を通さないでください。



07

以下の項目を確認してください。

一つでも不備や間違いがある場合は、そのまま使用せず、正しい状態に修正してから使用してください。



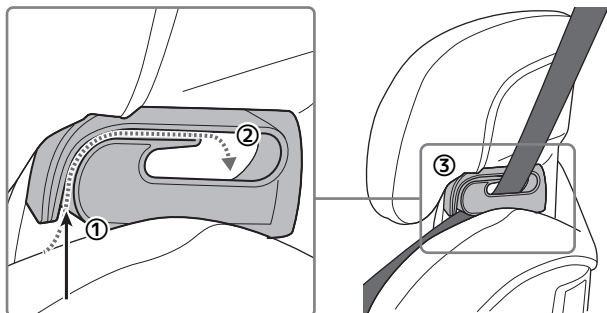
- ・シートベルトにねじれがないこと。
- ・シート肩ベルト、シート腰ベルトが両方とも腰ベルトパスB（緑色のラベルの部分）を通っていること。
- ・シートバックルにシートタングが確実に留まっていること。



- ・シートベルトにねじれがないこと。
- ・シート腰ベルトが両方とも腰ベルトパスB（緑色のラベルの部分）を通っていること。

シート肩ベルトを、シート肩ベルトの取り出し口側（シートバックルの反対側）の肩ベルトガイド（緑色）に、通します。

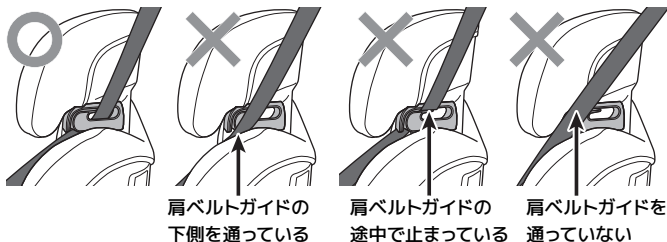
- ①肩ベルトガイドの下側の差込口から、シート肩ベルトを差し込み、
- ②奥まで通して、
- ③下図のような状態にします。



⚠危険

シート肩ベルトを正しく肩ベルトガイドに通すこと

事故や衝撃を受けた際に、シート肩ベルトが外れるなどして本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。シート肩ベルトを肩ベルトガイドの下側を通したり、奥まで通さずに使用しないでください。シート肩ベルトは、肩ベルトガイド以外の場所を通さないでください。



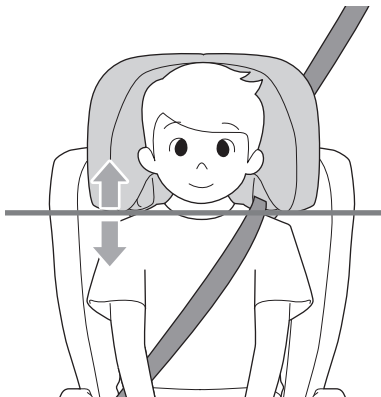
 ポイント!

肩ベルトガイドは左右のいずれか一方を使用します。右ハンドル車の助手席後ろの座席の場合は正面から向かって右側（シート肩ベルトの取り出し口側／シートバックルの反対側）を使用しますが、右ハンドル車の運転席後ろの座席の場合は、正面から向かって左側を使用します。

09

ヘッドサポートの高さを調節して、
ヘッドサポートの下端がお子さまの肩と同じ高さになるように調節
してください。

参照 P37-38 ▶ヘッドサポートの調節



危険

ヘッドサポートの下端とお子さまの肩の高さが同じになるようにすること
ヘッドサポートの下端をお子さまの肩と同じ高さに調節することにより、シート肩ベルトが適切な高さになります。シート肩ベルトが高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したり窒息するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



10

シート肩ベルトが適正範囲（点線で囲った範囲内）に収まるように、シート肩ベルトの位置を調節します。



⚠危険

お子さまの位置を正しい状態にすること

お子さまの安全のため、シート肩ベルトは必ず「適正範囲」内に通し、首側（内側）や外側を通して首を圧迫したり、すり抜けたりする危険がないよう確認してください。シート肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首、腕にかかっている場合は、正しい状態に調節してからご使用ください。



11

- ①シート腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るように調節します。
- ②シート肩ベルトを引いて、シートベルトにたるみがないようにします。

⚠警告

腰ベルトは骨盤の上を通すこと

事故や急制動などの際の衝撃を骨盤で受けられるように、シート腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通してください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷、骨折にいたる危険性が高まります。



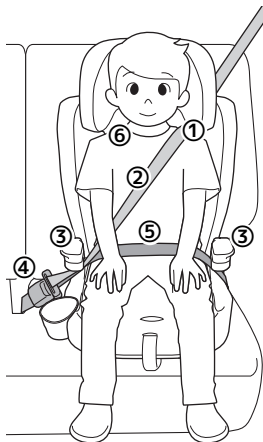
12

以下のチェックリストをすべて確認し、本製品が正しい状態であることを確認してください。

一つでも正しくない項目がある場合は、そのまま使用せず、必ず正しい状態にしてからご使用ください。

✓Check!

- ①肩ベルト（肩ベルトガイド）の高さが適切に調節されていること。シート肩ベルトが肩ベルトガイドに正しく通されていること。
- ②シートベルトにねじれがなく、しっかりと締まっていること。
- ③シートバックル側の腰ベルトパスBに、シート肩ベルトとシート腰ベルトの両方が、反対側の腰ベルトパスBにはシート腰ベルトだけがそれぞれ通っていること。
- ④シートバックルがしっかりと留まっていること。シートバックルが本製品（腰ベルトパスB）に干渉していないこと。
- ⑤腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。
- ⑥お子さまが正しい姿勢で座っていること。



13

お子さまの年齢が上がると、ご自身でシートバックルに手を触れて解除してしまう危険性が高まります。

絶対に走行中にバックルを外さないよう、常にお子さまに厳しく言い聞かせ、シートベルトを正しく装着した状態でご使用ください。

⚠警告

正しい状態を維持すること

お子さまが、走行中にシートバックルに触れて解除したり、シートベルトから抜け出そうとしたりする危険があります。お子さまには、「バックルに触れないこと」、「シートベルトを正しく装着すること」を繰り返し注意するようにしてください。

また、本製品の使用中は、シートベルトが緩んだり外れたりしていないか、適宜、安全確認を行うようにしてください。

 ポイント!

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、肩ベルトガイド（ヘッドサポート）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

14

お子さまを降ろす際はシートベルトを外す必要があります。ブースターモードでは本製品が座席に固定されていません。車内の安全のため、必ず座席に適切に固定するか、車外に出してトランクに入れるなどしてください。

お手入れのしかた

本製品では、お手入れのためベース、バックレスト、ヘッドサポートのカバーを取り外すことができます。お手入れ後は、取り外したカバーを必ず元に戻してください。

危険

カバー類を取り外して使用しないこと

カバー類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、クッション材（本製品に取り付けられている白色の EPP/ EPS フォーム（発泡スチロール等の衝撃吸収材）も安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

警告

取り外したカバー類、カバー類を取り外した本製品はお子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがありますので、お手入れ等のためにカバー類を取り外したら、取り付け直すまでの間は、それぞれお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

注意

カバーの取り付け、取り外しは、慎重に作業してください

カバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。

肩ベルトパッド・股ベルトパッドの取り外し

以下を参照してください。

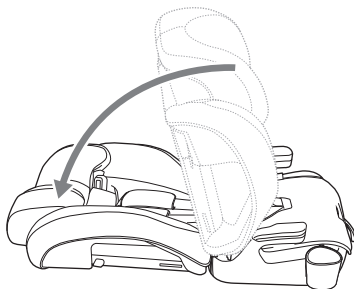
参照 P58 ▶ブースターモードへの切り替え▶ 07-08

参照 P60 ▶ブースターモードへの切り替え▶ 11

バックレストのカバーの取り外し

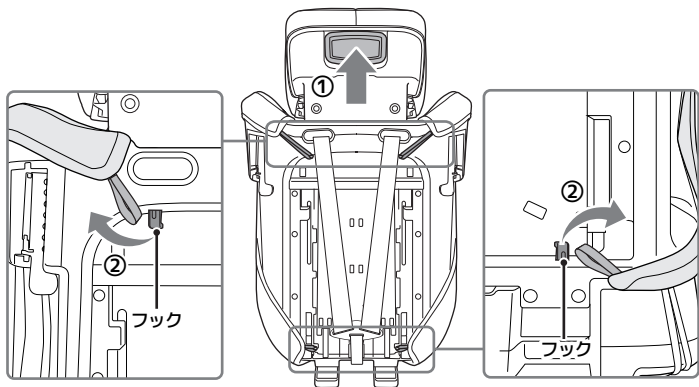
01

あらかじめバックレストの固定を解除しておきます。バックレストを片手で支えながら、後方へ押し倒すようにすると固定が解除されます。



02

- ①ヘッドサポートを高い位置に調節して、
- ②バックレスト背面上部、下部の左右のフックに掛けられているゴムバンドを外します（合計4カ所）。

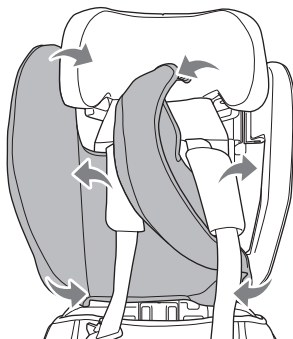


 ポイント!

ヘッドサポートが最も低い位置に調節されていると、下部左右のゴムバンドが取り外しできません。

参照 P37-38 ▶ヘッドサポートの調節

- 03** ①バックレストのカバーを左右の肩ベルト（肩ベルトパッド）から抜き取ります。
②バックレストのカバーを前方に抜き取ります。



 ポイント!

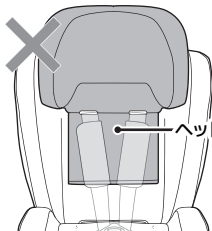
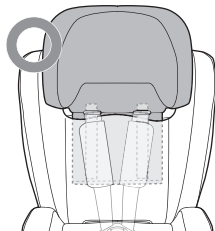
図は、ハーネスモードの状態を示しています。ブースターモードの場合は肩ベルト（肩ベルトパッド）は、取り外された状態になっています。

04

取り付けは逆の手順で行います。ハーネスモード、ブースターモードとも、ヘッドサポート下部パッド部をバックレストのカバーの内側にするよう注意してください。

 注意

ヘッドサポートの下部をバックレストのカバーの内側に入れること
本製品の安全性能に影響をおよぼすおそれがありますので、ヘッドサポート下部（パッド部）は両方ともバックレストのカバーの内側に入れておいてください。



ヘッドサポート下部

ヘッドサポートのカバー・ベースのカバーの取り外し

ハーネスモードでご使用の場合、ヘッドサポートのカバー、ベースのカバーを取り外すには、ベースからハーネスを取り外す必要があります。

取り外したハーネスは、必ず正しく取り付けなおしてください。

⚠危険

ハーネスは必ず正しい状態で取り付けなおすこと

お手入れ後に引き続きハーネスモードで使用する場合は、取り外したハーネスを正しい位置・向きで確実に取り付け直してください。

誤った方法で取り付けした場合、本製品が所定の安全性能を発揮できず、重大な事故につながるおそれがあります。

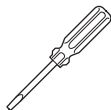
ハーネスモードでご使用の場合の準備

👉ポイント!

以下の操作は、ハーネスモードでご使用の場合のみ必要となります。ブースターモードでご使用の場合は、この操作は必要ありません。

01

取り外しの操作にはマイナスドライバーが必要になります。あらかじめお手元にご用意ください。



マイナスドライバー

02

あらかじめバックルを外してハーネスをゆるめ、バックレストを倒しておきます。

👉ポイント!

ヘッドサポートのカバーのみを取り外す場合、バックレストを倒す必要はありません。

03

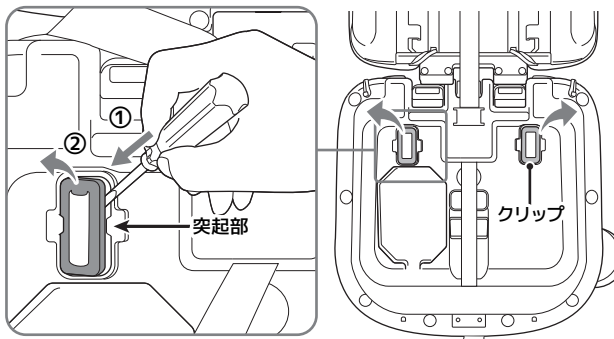
左右の肩ベルトパッドを取り外しておきます。

参照 P58 ▶ブースターモードへの切り替え▶ 07-08

04

ベース底面でハーネス（左右2カ所）を留めている金属製のクリップを取り外します。

- ①クリップの隙間にマイナスドライバーを差し入れて、
- ②クリップを突起部から外します。突起部にキズを付けないようご注意ください。



⚠ 警告

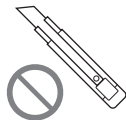
突起部が破損した場合は使用しないこと

ハーネスの金属クリップは、突起部で固定されています。突起部が破損するとハーネスが正しく固定されません。突起部が破損しクリップを固定できなくなった場合は本製品を使用しないでください。

⚠ 注意

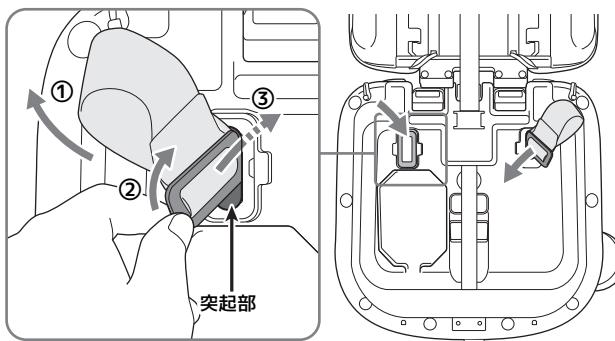
カッターナイフなどの鋭利な工具は使用しないでください

突起部およびクリップの固定部を破損するおそれがあります。クリップの取り外しにはカッターナイフなどの刃先があるもの、鋭利なもの、太すぎるものを使用しないでください。



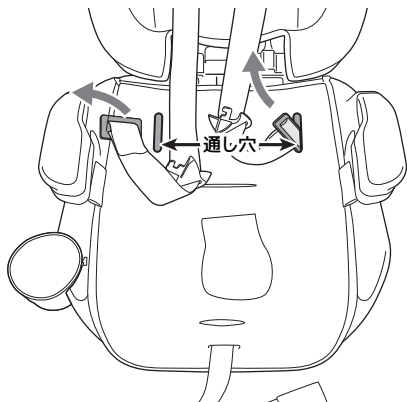
05

- ①ハーネスを少し引き出し、
- ②クリップを回転させて角度を調節して、
- ③通し穴に押し込みます。左右とも同じようにしてください。



06

ベースの左右の通し穴（ベース本体およびベースのカバー）から、クリップ（ハーネス）をそれぞれ引き抜きます。カバーに引っかかった感じがする場合は無理に引き抜こうとせず、引っかかった部分を外してから引き抜いてください。



ベースのカバーの取り外しかた

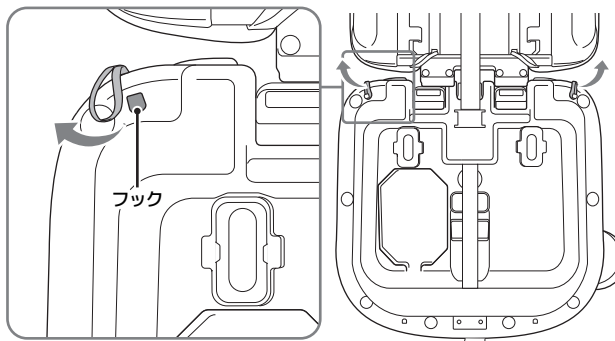
01

ハーネスモードでご使用の場合は、股ベルトパッドを取り外しておきます。

参照 P60 ▶ブースターモードへの切り替え▶ 11

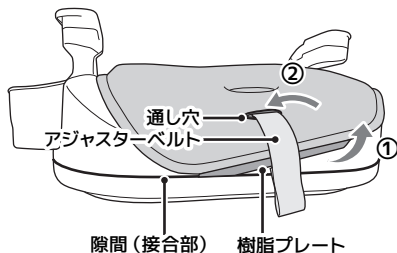
02

ベース底面後部左右のフックに留めてある、カバーのゴムバンドを外します。
左右とも外してください。



03

- ①ベース先端の隙間（接合部）に差し込まれている樹脂プレートを外して、
- ②アジャスターベルトを通し穴から抜き取ります。

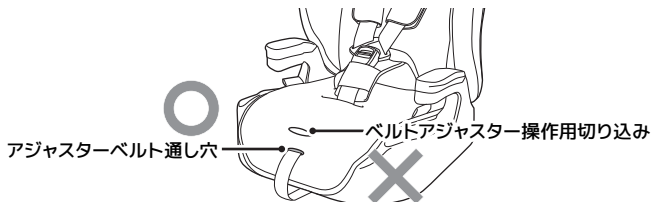


⚠注意

取り付け時には通し穴に注意してください

アジャスターベルトを通す穴（通し穴）と、ベルトアジャスターを操作するための切り込みは、上下に並んでいます。

下側がアジャスターベルト用の通し穴です。誤って、上側のベルトアジャスター操作用の切り込みにベルトを通さないように注意してください。

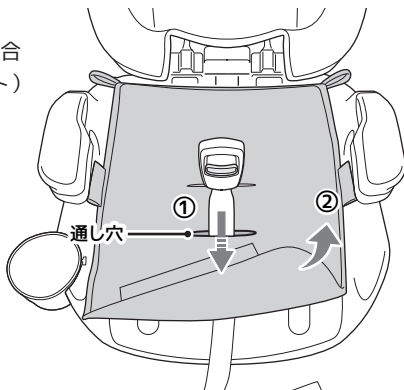


04

①ハーネスモードでご使用の場合は、受けバックル（股ベルト）を通し穴から抜き取ります。

②カバーを取り外します。

 **ポイント!**
ブースターモードの場合、①の操作は不要です。



05

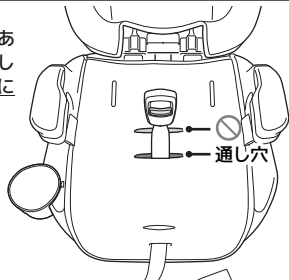
取り付けは逆の手順で行います。ブースターモードでご使用の場合は、受けバックル（股ベルト）の取り付け、股ベルトパッドの取り付けは不要です。ハーネスモードでご使用の場合は、続けて「ハーネスの取り付け（ハーネスモード）」の操作を必ず行ってください。

参照 P88-91 ▶ハーネスの取り付け（ハーネスモード）

⚠危険

取り付け時には通し穴に注意してください

ベースのカバーには、座面部前後二か所に穴があります。本製品では、前方の通し穴のみを使用します。後方の穴にバックル（股ベルト）を絶対に通さないでください。



ヘッドサポートのカバーの取り外しかた

👉ポイント!

ブースターモードの場合は03の操作のみが必要となります。ただし、01の注意「ヘッドサポートの下部をバックレストのカバーの内側に入れること」についてはブースターモードでも同様です。

01

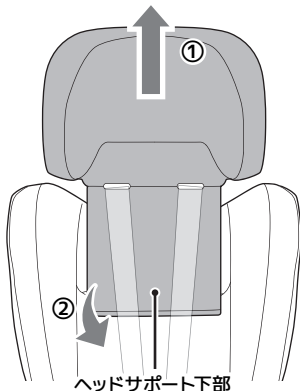
- ①ヘッドサポートを最も高い位置に調節して、
- ②ヘッドサポートの下部をバックレストのカバーから抜き出して表側に出しておきます。

参照 P37-38 ▶ヘッドサポートの調節

👉ポイント!

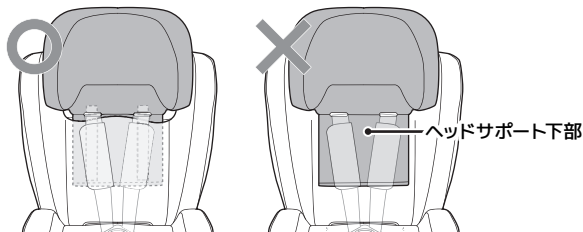
ヘッドサポートが高い位置に調節できない場合は、ハーネスをゆるめてください。

参照 P36 ▶ハーネスの調節▶01



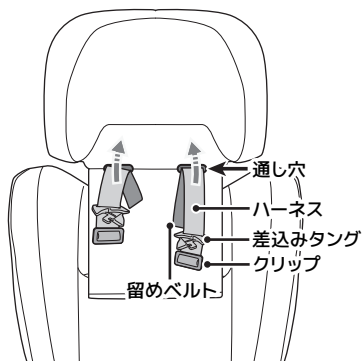
⚠ 注意

ヘッドサポートの取り付け時、下部をバックレストのカバーの内側に入れること
本製品の安全性能に影響をおよぼすおそれがありますので、ヘッドサポート下部
(パッド部) は両方ともバックレストのカバーの内側に入れておいてください。



02

ヘッドサポートのカバーの通し穴からハーネス、留めベルト、差込みタング、クリップを裏側に抜きます。



👉 ポイント!

差込みタング、クリップが抜きにくい場合は無理をせず角度を調節して抜いてください。

⚠注意

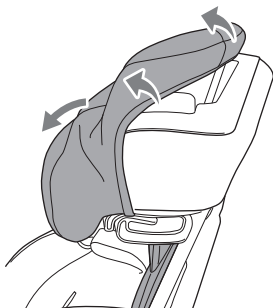
ヘッドサポートの機構部（樹脂部分）の通し穴からは抜かないでください

ハーネス、パッド留めベルト、差込みタング、クリップはヘッドサポートのカバーの通し穴からのみ抜きます。機構部（樹脂部分）の通し穴からは抜かないようにしてください。



03

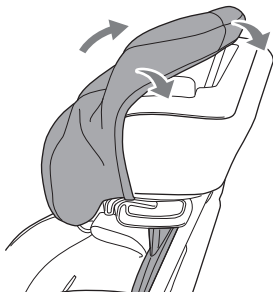
ヘッドサポートの後部からカバーを外し、前方に抜き取ります。



04

取り付けは、逆の手順で行います。カバーを取り付ける際には、肩ベルトガイドの上の隙間にカバーの生地を通してください。

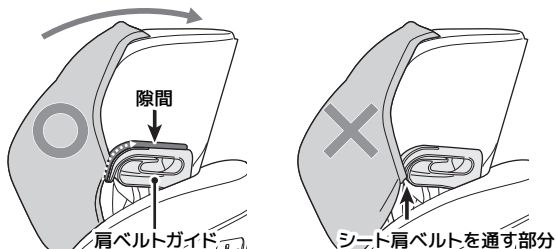
ブースターモードでご使用の場合、02 の操作は必要ありません。



⚠注意

ヘッドサポートのカバーの生地を通す場所に注意すること

肩ベルトガイドを使用できなくなりますので、ヘッドサポートのカバーの生地を、肩ベルトガイドのシート肩ベルトを通す部分に通さないようにしてください。

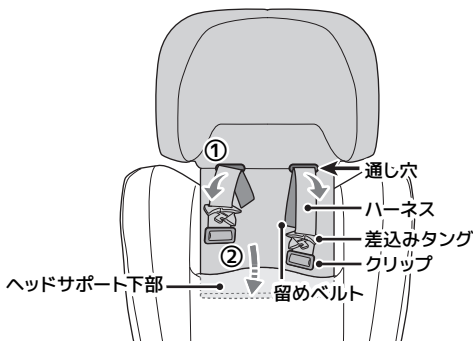


ブースターモードでご使用の場合は、取り付け操作は以上となります。最後にヘッドサポート下部をバックレストのカバーの内側に入れてください。

05

ハーネスモードでご使用の場合は、02 の操作を逆の手順で行います。

- ①ヘッドサポートの左右の通し穴にハーネス、パッド留めベルト、差込みタング、クリップを通して最後までハーネスを引き出し、
- ②ヘッドサポート下部をバックレストのカバーの内側に入れておきます。



ハーネスモードでご使用の場合は、続けて「ハーネスの取り付け（ハーネスモード）」の操作を必ず行ってください。

⚠危険

ハーネスをねじらないように注意すること

お子さまが装着するハーネスににねじれがあると、本製品が安全に機能しません。ねじれが生じないように、都度確認しながら取り付けてください。

ハーネスの取り付け（ハーネスモード）

ハーネスモードでご使用の場合は、必ずハーネスの取り付け操作を行ってください。

👉ポイント!

以下の操作は、ハーネスモードでご使用の場合のみ必要となります。ブースターモードでご使用の場合は、この操作は必要ありません。

01

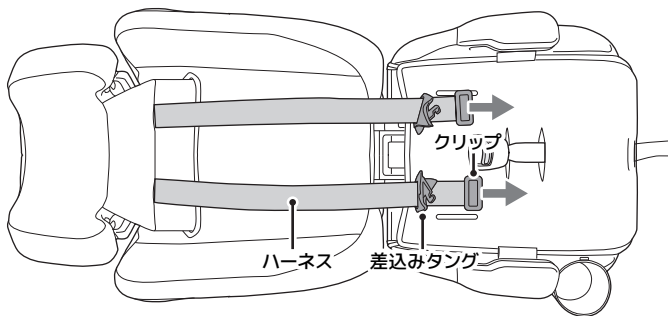
あらかじめ、ベース、ヘッドサポート、バックレストのカバーを取り付けておきます。

参照 P77-78 ▶バックレストのカバーの取り外し

参照 P79-88 ▶ヘッドサポートのカバー・ベースのカバーの取り外し

02

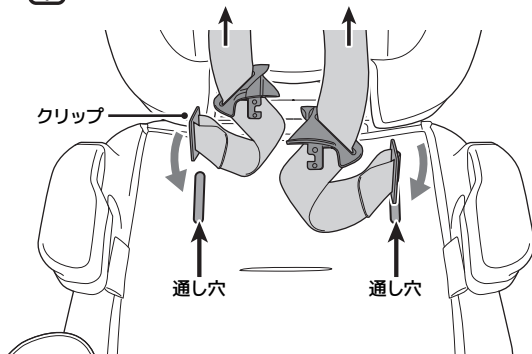
ハーネスを引っ張って伸ばし、ねじれがないことを確認します。ハーネス、差込みタング、クリップをそれぞれ下図のような状態にしてください。



03

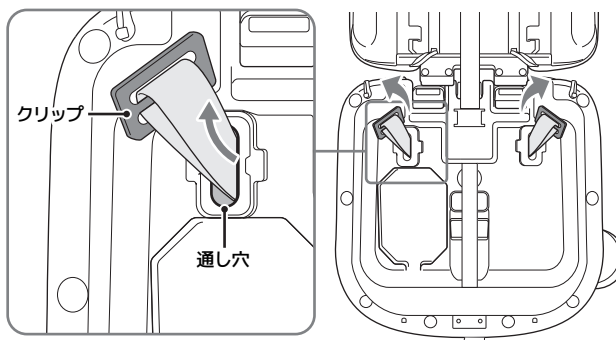
下図を参照してハーネスをねじらないように注意しながら、クリップの角度を調節して通し穴からベースの底面側に出るまで通します。クリップの向きに注意してください。クリップの向きが間違っているとハーネスにねじれが生じます。

 ハーネスにねじれがないことを確認してください。



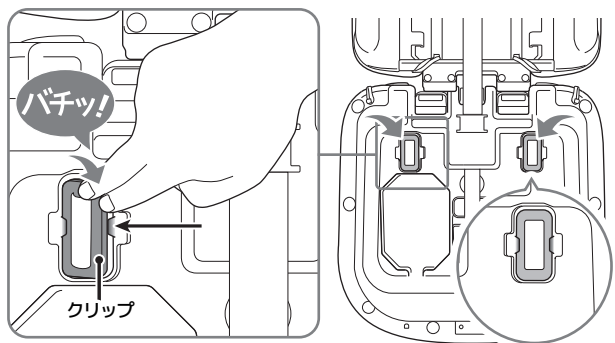
04

ベース底面の通し穴からクリップを抜き出します。左右とも同じようにしてください。



05

クリップをしっかりと押し込んで左右の突起部にはめ込みます。バチッと音がしてクリップが左右両方の突起部に掛かっていることを確認してください。左右とも同じようにしてください。



左右の突起部にクリップが掛かっていることを確認してください。

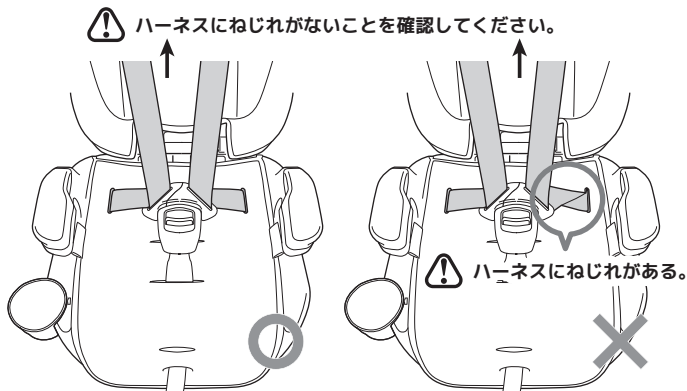
⚠ 危険

クリップは確実に左右の突起部にかかるようにしてください

クリップは、必ず左右の突起部分にしっかりとかけてください。正しくかかっていると、ハーネスを正しく取り付けることができません。そのまま使用すると、急ブレーキや衝突時にハーネスがゆるんだり、逆に強く締めすぎで、重大な事故につながるおそれがあります。

06

バックルを留めてアジャスターベルトを引いてハーネスを締め付けます。
その状態でハーネスにねじれがないことを確認してください。ねじれが生じている場合は、クリップの向きを変えてねじれがないようにしてください。



⚠危険

ハーネスがねじれた状態で使用しないこと

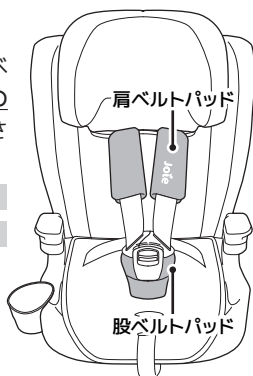
ハーネスにねじれが生じたまま使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できず
に思わぬ事故につながるおそれがあります。

07

バックレストを立てて、肩ベルトパッドと股ベルトパッドを取り付けます。ハーネスモードの場合には必ず両方とも取り付けて使用してください。

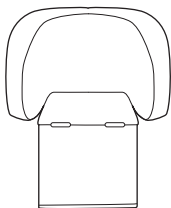
参照 P58 ▶ブースターモードへの切り替え▶ 07-08

参照 P60 ▶ブースターモードへの切り替え▶ 11

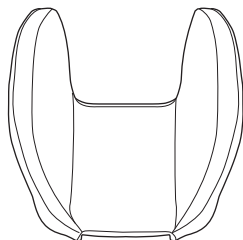


カバー・パッド類のお手入れ

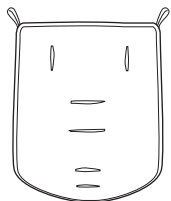
取り外したカバー類とパッド類は、以下の表示に従ってお手入れしてください。



ヘッドサポートのカバー



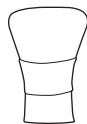
バックレストのカバー



ベースのカバー



肩ベルトパッド



腰ベルトパッド

⚠ 注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でカバーを洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

👉 ポイント!

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

01

以下を参照してお手入れしてください。カバー類、パッド類はよく乾かしてから取り付けしてください。

- ・ 破損を防ぐため、お手入れ時に肩ベルトパッドのホックは留めておいてください。
- ・ ヘッドサポートのカバーの下部には樹脂のプレートが入っています。樹脂プレートは取り外すことができません。お手入れの際には折り曲げたりしないようにご注意ください。

① 液温 30℃を限度に、洗濯機で洗うことができます（手洗いをお勧めします）

洗濯機の容量や機種によっては、脱水機能使用時に、重量の偏りにより洗濯機が故障するおそれがあります。脱水時に偏りが発生した場合などは、30℃以下の水温で手洗いしてください。

② 漂白剤は使用しないでください

劣化を早め、変退色、破損の原因となりますので、塩素系、酸素系の漂白剤は使用しないでください。

③ タンブラー乾燥をしないでください

破損、損傷、縮みの原因となりますので、タンブラー乾燥（乾燥機）は使用しないでください。

④ つり干しを推奨します

型崩れしないよう注意して、しっかりと開いて干してください。

⑤ アイロンは使用しないでください

破損、縮み、溶けの原因となります。

⑥ ドライクリーニングしないでください

変色、破損、縮みの原因となります。商業クリーニング、ドライクリーニングはお避けください。

⚠注意

原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください

未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形の原因となります。

その他の部位のお手入れ

⚠危険

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると本製品が変質、破損したり、安全に機能しなくなったりするおそれがあります。

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

樹脂部分（カップホルダーを含む）・衝撃吸収材

01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。衝撃吸収材は特にやさしくお手入れしてください。

洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

⚠注意

洗剤類、ウエットタオルは使用しないでください

洗剤類、市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふき、などは使用しないでください。含まれる成分によって、樹脂や衝撃吸収材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。

金属部分

01

金属部分の汚れは、お湯または水につけてきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。

除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意

除菌、抗ウイルスのスプレー、ミスト、ジェル等の製品には、本製品の縫製品、樹脂、金属に影響を与える成分が含まれている可能性があります。本製品に対する使用にあたっては、あらかじめこれらの製品のメーカーにお問い合わせの上、影響の有無をご確認ください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車外に出してください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョイー エレベート R129 ライト		
お買い上げ日			
お客様	ご住所 〒	お買い上げ 販売店名	店名 住所 電話番号
	お名前 電話番号	- -	- -

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。

2. 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。

- ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
- ・お客様のご購入を証明することができない場合
- ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合

- ・ 正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー等縫製製品のまつれの場合
- ・ 部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができます。

- ・ 事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
- ・ 誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
- ・ 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
- ・ 並行輸入品や海外で購入された製品の場合
- ・ 業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
- ・ 中古品の場合
- ・ 本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
- ・ 本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合

4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。

5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。

6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(Joie日本総代理店)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シート等を貼り付けてください

Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ



bring the kids™
Share the joy at joiebaby.com

2511_01